

令和 7 年度

シラバス

学校法人 福岡医療学院
福岡医療専門学校

歯科衛生科

令和 7 年度 福岡医療専門学校 歯科衛生科 シラバス 目次

教育方針		P 3
養成人材像		P 3
教育課程編成・実施の方針		P 3
1 年生履修科目		P 5
2 年生履修科目		P30
3 年生履修科目		P62

教育理念

親が子に残せる唯一の財産は教育である

養成人材像

豊かな人間性をもち、多職種と連携しながら人々の健康長寿を目指した口腔健康管理を実践できる歯科衛生士を養成する。

教育課程編成・実施の方針

1. 生命科学および基本的な情報処理の理解を深め、科学的思考の基盤を形成しコミュニケーション能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。
2. 人体の構造と機能、歯や口腔の健康と予防に係る人間と社会の仕組みを理解する能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。
3. ライフステージごとに専門的な知識・技能を駆使して、口腔機能の変化を把握し歯科保健医療を提供できる能力を養う「専門分野」の科目を設置する。

令和7年度 入学 歯科衛生科 教育課程

分野	教育内容	No.	科目名	学則		1年次		2年次		3年次	
				単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	1	生命科学	2	30	2	30				
		2	コミュニケーションスキル	1	15	1	15				
		3	情報処理論	2	30	2	30				
		4	基礎ゼミナール	2	30	2	30				
		5	英会話	1	15	1	15				
		6	キャリアデザイン	1	15	1	15				
		7	健康行動学	1	15	1	15				
専門基礎分野	人体の構造と機能 歯・口腔の構造と機能 疾病の成り立ち及び回復過程の促進	8	解剖学	2	30	2	30				
		9	組織・発生学	2	30	2	30				
		10	口腔解剖・歯牙解剖学	2	30	2	30				
		11	口腔生理学	2	30	2	30				
		12	口腔生化学	1	30	1	30				
		13	病理学・口腔病理学	2	30	2	30				
		14	歯科薬理学	2	30	2	30				
	15	口腔微生物学	2	30	2	30					
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	16	口腔衛生学	3	60	3	60				
		17	歯科衛生統計	1	15					1	15
18		衛生学・公衆衛生学	1	30			1	30			
19		衛生行政	1	15					1	15	
20		社会福祉論	1	15					1	15	
専門分野	歯科衛生士概論	21	歯科衛生士概論	1	30	1	30				
		22	医療倫理学	1	15					1	15
	臨床歯科医学	23	保存修復学・歯内療法学	1	30	1	30				
		24	歯周病学	1	30			1	30		
		25	歯科補綴学	1	30			1	30		
		26	口腔外科・歯科麻酔学	1	30			1	30		
		27	小児歯科学	1	30			1	30		
		28	矯正歯科学	1	30			1	30		
		29	歯科放射線学	1	15			1	15		
		30	高齢者・障害者歯科学	1	30			1	30		
	歯科予防処置論	31	歯科予防処置論Ⅰ	4	120	4	120				
		32	歯科予防処置論Ⅱ	3	90			3	90		
		33	歯科予防処置論Ⅲ	1	15					1	15
	歯科保健指導論	34	栄養指導	2	30					2	30
		35	歯科保健指導論Ⅰ	2	60	2	60				
		36	歯科保健指導論Ⅱ	2	60			2	60		
		37	歯科保健指導論Ⅲ	1	15					1	15
	歯科診療補助論	38	歯科材料	1	30	1	30				
		39	歯科機器	1	15			1	15		
		40	摂食嚥下リハビリテーション	1	15					1	15
		41	歯科診療補助論Ⅰ	2	60	2	60				
		42	歯科診療補助論Ⅱ	3	60			3	60		
		43	歯科診療補助論Ⅲ	1	15					1	15
	臨地実習	44	臨地実習Ⅰ	8	360			8	360		
		45	臨地実習Ⅱ	12	540					12	540
	選択必修		46	看護学概論	1	15	1	15			
47			リハビリテーション概論	1	15	1	15				
48			画像情報学概論	1	15					1	15
49			デンタルアンチエイジング	1	15					1	15
50			歯科衛生学テーマ別講義	3	90					3	90
合 計				93	2430	41	810	25	810	27	810

科目名	生命科学					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位	
科目 責任者	大神 啓裕				科目 担当者	大神 啓裕				
科目 概要	代謝をはじめとする生命活動の多くは、化学反応によりもたらされる。この化学反応を薬剤などで制御すれば、生命活動の一部をコントロールすることができる。物質の組成・性質・物質間の概念について学び、様々な化学的变化を理解し、生命活動について新たな視点を修得し、科学的に思考できる能力を修得する。									
到達 目標	1. 専門基礎分野を学ぶために必要な基礎的知識を理解できる。 2. 看護を学ぶ上で必要となる基礎的知識を理解できる。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	物質の構造				原子の構造と表記			講義	大神	
2	単位と元素の周期表				量と単位，元素の周期表			講義	大神	
3	化学結合 (1)				イオンとイオン結合			講義	大神	
4	化学結合 (2)				共有結合・金属結合			講義	大神	
5	水溶液の濃さの表し方 (1)				水溶液と濃度			講義	大神	
6	水溶液の濃さの表し方 (2)				希釈			講義	大神	
7	生命体のつくりとはたらき (1)				細胞の構造			講義	大神	
8	生命体のつくりとはたらき (2)				細胞の化学成分			講義	大神	
9	生命体のつくりとはたらき (1)				細胞膜の輸送			講義	大神	
10	遺伝情報の伝達と発現のしくみ				DNA，遺伝情報の伝達，タンパク質の合成			講義	大神	
11	生体維持のエネルギー (1)				生体内の化学反応			講義	大神	
12	生体維持のエネルギー (2)				呼吸			講義	大神	
13	細胞の増殖とからだのなりたち (1)				細胞分裂，細胞周期			講義	大神	
14	細胞の増殖とからだのなりたち (2)				細胞の分化とからだのなりたち			講義	大神	
15	細胞の増殖とからだのなりたち (3)				細胞死と発がん			講義	大神	
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	課 題	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	45	45	10	-	-	-	-	100		
教科書	川合 進二郎 他 最新歯科衛生士教本 生物学 第1版 医歯薬出版 ￥2,000+税									
教材・参考図書	鶴房 繁和 他 歯科衛生学シリーズ 化学 第1版 医歯薬出版 ￥2,000+税									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので，理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。									

科目名	コミュニケーションスキル					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	後期	分野	基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	末永 仁美				科目 担当者	末永 仁美				
科目 概要	社会人として場面ごとに必要な敬語、適切な接遇などのコミュニケーションを体系的に学修する。また、将来歯科医療の現場で、歯科衛生士として患者や医療スタッフと良好な信頼関係を築くことができるコミュニケーション能力を修得する。									
到達 目標	1. 人間関係を円滑にする対話（敬語、日本語）についての基礎的な知識を深める。 2. 目的と相手に応じた書き言葉（手紙、履歴書の送り状、レポート）による表現ができるようになる。 3. 効果的な対話ができる態度や能力を身につける。 4. 患者・歯科医師・歯科技工士の立場を意識したコミュニケーションが取れる。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	オリエンテーション、敬語 個人情報保護法について				授業内容の概要説明、敬語の種類、敬語の誤例 個人情報保護法の重要性について学ぶ			講義	末永	
2	電話応対				電話のかけ方・受け方・電話のメモの取り方			講義	末永	
3	あいさつ、自己紹介				学外実習開始前及び終了時のあいさつの仕方 患者や歯科スタッフに自己紹介ができる 挨拶とお辞儀の練習、受付、案内、診療室での美しい立ち居振る舞いを身につける			講義	末永	
4	礼状（手紙・Eメール）の書き方				手紙・Eメールの基本的書式、レポート作成 実習先（歯科医師・病院）への礼状作成			講義	末永	
5	公文書の書式、作成				公文書の書式の理解、履歴書送り状の作成			講義	末永	
6	コミュニケーション力（1）				見ること・あいさつから生じる対話力 自分の話し方を見直し、聴き取りやすい話し方を身につける。			講義	末永	
7	コミュニケーション力（2）				聴くことから生じる対話力、対話力のまとめ クレーム対応			講義	末永	
8	レポートの作成 冠婚葬祭マナー				序文、結文、丁寧語、美化語、尊敬語 社会人として知っておきたい冠婚葬祭マナー お茶の入れ方や茶菓の出し方を学ぶ			講義	末永	
評価方法										
評価指標	レポート	実技課題	-	-	-	-	-	合計		
評価割合(%)	50	50	-	-	-	-	-	100		
教科書	中島丘 他 みがこう！コミュニケーション・センス 歯科医院での医療安全のために 第1版 医歯薬出版 ￥3,800＋税									
教材・参考図書	講義時に適宜紹介する。									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	事後学修は、自宅にてプリント等の該当箇所を精読する。									

科目名	情報処理論					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	川島 英敏				科目 担当者	川島 英敏			
科目 概要	コンピュータやネットワーク機器の基本的な構成とその役割を理解する。また、高度に情報化された業務システムを安全に運用し業務に必要とされる情報の収集と分析、及び情報の活用が行える ICT リテラシーの技術を習得する。								
到達 目標	1. コンピュータと関連機器、及びソフトウェアの種類と機能について理解する。 2. ネットワークを構成する各種機器を理解し、安全な運用管理を実施するための情報セキュリティを学ぶ。 3. 歯科衛生に関する資料の収集と加工、及び効果的な情報発信の手法を習得する。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	コンピュータの基本構成 1			ハードウェアとオペレーティングシステム				講義	川島
2	コンピュータの基本構成 2			ソフトウェアと関連機器				講義	川島
3	情報の表現と取扱い			数の表現やマルチメディア情報の取扱い				講義	川島
4	ネットワーク技術			ネットワークの構成技術と通信プロトコル				講義	川島
5	情報セキュリティ			情報システムの安全管理とネットワークセキュリティ				講義	川島
6	情報の処理と分析 1			表計算ソフトの基本操作				実技	川島
7	情報の処理と分析 2			表計算ソフトによるデータ処理 1				実技	川島
8	情報の処理と分析 3			表計算ソフトによるデータ処理 2				実技	川島
9	情報の処理と分析 4			表計算ソフトによるデータ分析 1				実技	川島
10	情報の処理と分析 5			表計算ソフトによるデータ分析 2				実技	川島
11	情報の収集と活用 1			プレゼンテーションソフトの基本操作				実技	川島
12	情報の収集と活用 2			歯科衛生に関する資料の検索と加工				実技	川島
13	情報の収集と活用 3			歯科指導のプレゼンテーション資料の作成				実技	川島
14	情報の収集と活用 4			歯科指導のプレゼンテーション資料の作成				実技	川島
15	情報の収集と活用 5			歯科指導のプレゼンテーションの実施				実技	川島
あ評価方法									
評価指標	定期試験	実技課題	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	50	50	-	-	-	-	-	100	
教科書	丸森 英史 そのまま使える！パワポ歯科指導 第1版 少年写真新聞社 ￥2,400＋税								
教材・参考図書	授業で使用する資料やデータはネットワーク経由で配布する。								
オフィスアワー	実技時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	プレゼンテーション資料の作成や実技の練習を行う為に、共同学習室と図書館のパソコンを使用することが出来ます。								

科目名	基礎ゼミナール					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位	
科目 責任者	谷口 邦久				科目 担当者	藤瀬 武、谷口 邦久、大神 啓裕、山本 拓史、 貴島 聡子、古川 理恵、田頭 美穂、眞武 郁、 前田 豊美、的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	主体的な学習者として必要な基本的スキルを身につけ、能動的学習の必要性を理解する。また、社会人としての基礎力を身につけ、歯科衛生士として必要な学習態度を修得する。									
到達 目標	1. 社会人として、また歯科医療従事者として基本的な態度を理解する。 2. 歯科衛生士に必要な基礎的知識を身につけるための学習方法について理解する。 3. 情報リテラシーを理解する。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	ICT 教材と学習方法 (1)			クラスルーム、図書館利用方法と文献検索法				講義・演習	大神	
2	オリエンテーション			歯科衛生士として求められる基本的な資質・能力				講義	藤瀬	
3	学習方法			ノートの取り方と復習法、レポート作成法				講義	谷口	
4	口腔健康管理 (1)			口腔衛生管理を行うために必要な基礎知識・技術を学ぶ				実習	前田	
5	口腔健康管理 (2)			各種口腔衛生用具の種類と使用目的を説明できる				実習	前田	
6	歯科衛生士の仕事・キャリアの魅力 (1)			歯科衛生学教育モデルコアカリキュラムの概要、カリキュラムマップ [°]				講義	貴島	
7	歯科衛生士の仕事・キャリアの魅力 (2)			歯科衛生士が目指すキャリアアップ [°] のかたち、資格取得でスキルアップ [°]				講義	田頭・眞武 今村	
8	歯科衛生士の仕事・キャリアの魅力 (3)			歯科衛生士が目指すキャリアアップ [°] のかたち、資格取得でスキルアップ [°]				講義	前田・的場	
9	医療連携基礎			実際の多職種の仕事内容を体験から学び、選択した職種との関連性を考え深める方法を学ぶ				演習	山本	
10	鍼灸基礎			東洋医学について学ぶ				講義・演習	古川	
11	歯科材料 歯科機器			最新の歯科医療機器、歯科材料を学ぶ				講義	眞武	
12	漢方基礎			和漢薬の考え方を知る				講義・演習	古川	
13	高齢者への歯科衛生実践 オーラルフレイル			加齢に伴う変化、高齢者の身体的・精神的特徴と 歯科治療の基本を理解する				講義・演習	谷口	
14	歯科材料 (1)			歯科材料(印象材) の取扱い				実習	眞武	
15	歯科材料 (2)			歯科材料(印象材) の取扱い：実技試験				実習	田頭	
評価方法										
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100		
教科書	適宜、プリントを配布する。									
教材・参考図書	歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編 第1版 医歯薬出版 ￥4,800									
オフィスアワー	毎週月曜、金曜：16:00～17:30									
履修上の 注意点	教科書と講義ノートを必ず持参し、授業内容を把握し、講義内容をノートに取ること。									

科目名	英会話					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	金子 知恵				科目 担当者	金子 知恵			
科目 概要	テキスト歯科医院での実用英会話に沿って、医療に関係する基本的な英語を学習していく。窓口、電話での応対、検査等の基本的な Speaking、Listening、Reading、Writing を行う。								
到達 目標	英語で基本的な受付応対、主訴の聞き取り、検査等を行うことができる。その他、教養英語についても理解できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	Introduction 01 受付での電話対応			Self-introduction 文法・曜日・月名の確認プリント 01 受付での電話対応				講義	金子
2	02 受付での初診対応 03 患者さんへの声掛け			02 受付での初診対応 03 患者さんへの声掛け				講義	金子
3	08 受付での会計・予約			08 受付での会計・予約				講義	金子
4	10 歯周検査			10 歯周検査				講義	金子
5	10 歯周検査			10 歯周検査				講義	金子
6	11 ブラッシング指導			11 ブラッシング指導				講義	金子
7	12 スケーリング			12 スケーリング				講義	金子
8	期末試験対策 Speaking テスト			期末試験対策 Speaking テスト				講義	金子
評価方法									
評価指標		提出物等	試験	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)		50	50	-	-	-	-	100	
教科書	土田 和範 他 歯科医院での実用英会話 第3版 医歯薬出版 ￥3800＋税								
教材・参考図書		適宜紹介する。							
オフィスアワー		講義時に適宜確認すること。							
履修上の 注意点		授業の復習を充分に行うこと。							

科目名	キャリアデザイン					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	後期	分野	基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	滝沢 哲也				科目 担当者	滝沢 哲也				
科目 概要	科目では、自分の強みを知り、キャリアとは何かを理解し、キャリアをデザインすることの必要性について考える。 グループディスカッションや先輩の話を通して、様々なキャリアの在り方を知ることにより、キャリアデザインを能動的に考える機会を提供する。卒業後の仕事生活を見据えて、学生生活の過ごし方などを自ら考えて、選択し、判断して行動ができるようになることを目標とする。									
到達 目標	①キャリアとは何か、キャリアデザインとは何かについて理解する。 ②日本型雇用の特徴と今後の変化について理解する。 ③実現したいキャリアデザインを踏まえて、学生生活の過ごし方を描くことができる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	概論、キャリアを考える 1			キャリアとは、キャリアデザインとは何か、先輩を知る①				講義・演習	滝沢	
2	キャリアを考える 2			自分について何を知っているか				講義・演習	滝沢	
3	キャリアを考える 3			専門学校生活の「節目」は何か				講義・演習	滝沢	
4	日本型雇用とキャリア 1			人生の「節目」は何か				講義・演習	滝沢	
5	日本型雇用とキャリア 2			日本型雇用、ジョブ型雇用				講義・演習	滝沢	
6	日本型雇用とキャリア 3			先輩を知る③				講義・演習	滝沢	
7	日本型雇用とキャリア 4			履歴書・自己紹介書				講義・演習	滝沢	
8	キャリアデザイン総括			キャリアデザインのまとめ				講義	滝沢	
評価方法										
評価指標	課題	小テスト	演習への 参加状況	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	50	40	10	-	-	-	-	100		
教科書	なし									
教材・参考図書	講義毎に必要な教材を紹介・配付する。									
オフィスアワー	火曜日 14：00－16：00									
履修上の 注意点	演習では、小人数に分かれて意見交換、ディスカッションを行うので、積極的に参加することが望まれる。									

科目名	健康行動学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	前期	分野	基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	當眞 裕樹				科目 担当者	當眞 裕樹			
科目 概要	健康づくりとして行われてきている生涯スポーツや、新たに創造されたニュースポーツの持つ特性を理解し実践する。さらに本講義ではアダプテッドスポーツの実践も含む。								
到達 目標	集団における個人の役割や責任を全うすることの大切さを理解し、他者とのコミュニケーション技能やソーシャルスキルを高めることができる。 個に応じた全面的な体力づくりを行うとともに、生涯にわたり計画的に健康の維持増進につとめていくことができる資質や能力を養う。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	オリエンテーション			授業概要、施設使用説明および体力づくり				演習	當眞
2	ラジオ体操			ラジオ体操 1～13				実技	當眞
3	シットイングバレー			ルールの把握とグループ課題練習、予備ゲーム				実技	當眞
4	シットイングバレー			ゲーム				実技	當眞
5	ファミリーバドミントン			ルールの把握とグループ課題練習、予備ゲーム				実技	當眞
6	ファミリーバドミントン			ゲーム				実技	當眞
7	アルティメット			ルールの把握とグループ課題練習、予備ゲーム				実技	當眞
8	アルティメット			ゲーム				実技	當眞
評価方法									
評価指標		定期試験	実技	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)		50	50	-	-	-	-	100	
教科書	オリエンテーション時に資料を配布する。								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	実技授業のため積極的に参加・行動すること								

科目名	解剖学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	児玉 淳				科目 担当者	児玉 淳			
科目 概要	人体を構成する各器官系の構造に関する基本的知識を修得する。また各器官系を構成する器官の構造と機能に関する基本的知識を修得する。								
到達 目標	1. 各器官の基本的構造を理解する。 2. 主要器官における構造と機能の関連を理解する。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	解剖総論			細胞・組織・器官・器官系とは				講義	児玉
2	骨格系(1)			概説、分類、骨化、連結				講義	児玉
3	骨格系(2)			頭蓋骨、体幹骨				講義	児玉
4	骨格系(3)			上肢骨、下肢骨				講義	児玉
5	筋系(1)			概説、分類、				講義	児玉
6	筋系(2)			頭頸部の筋、体幹の筋				講義	児玉
7	筋系(3)			上肢の筋、下肢の筋				講義	児玉
8	内臓系(1)			消化器系、呼吸器系				講義	児玉
9	内臓系(2)			泌尿器系、男性生殖器				講義	児玉
10	内臓系(3)			女性生殖器、内分泌系				講義	児玉
11	脈管系(1)			心臓、動脈系				講義	児玉
12	脈管系(2)			静脈系、胎児循環、リンパ系				講義	児玉
13	神経系(1)			概説、中枢神経系				講義	児玉
14	神経系(2)			末梢神経系、自律神経系				講義	児玉
15	感覚器系			皮膚、特殊感覚器				講義	児玉
評価方法									
評価指標	定期試験	中間試験	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	-	100	
教科書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 第1版 医歯薬出版 ￥4,600＋税								
教材・参考図書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版 医歯薬出版 ￥4,800＋税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義内容の重要なポイントをノートに記録し、その内容を自宅で学習すること。 理解度に合わせて講義の日程や内容を変更・追加することがあるため、授業中の指示を確認すること。								

科目名	組織・発生学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	長門 俊一				科目 担当者	長門 俊一			
科目 概要	生命の最小単位である細胞ならびに細胞の集りで構成される組織に関する基本的知識を修得する。 組織の集りで構成される各臓器の構造を微細構造レベルで修得する。 また、人体の発生に関する基本的知識を修得する。								
到達 目標	1. 各器官の構造を細胞・組織のレベルで理解する。 2. 各器官の組織構造と機能の関連を理解する。 3. 人体を構成する各器官の発生・成長の過程を理解する。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	組織学総論(1)				細胞 1			講義	長門
2	組織学総論(2)				細胞 2、上皮組織			講義	長門
3	組織学総論(3)				結合組織、軟骨組織			講義	長門
4	組織学総論(4)				骨組織、血液			講義	長門
5	組織学総論(5)				筋組織			講義	長門
6	組織学総論(6)				神経組織			講義	長門
7	組織学各論(1)				消化器系			講義	長門
8	組織学各論(2)				呼吸器系			講義	長門
9	組織学各論(3)				泌尿器系			講義	長門
10	組織学各論(4)				生殖器系			講義	長門
11	組織学各論(5)				神経系			講義	長門
12	組織学各論(6)				感覚器系			講義	長門
13	発生学(1)				有糸分裂、減数分裂、生殖細胞の発生			講義	長門
14	発生学(2)				受精から着床まで			講義	長門
15	発生学(3)				二層性胚盤、三層性胚盤、成長と加齢・老化			講義	長門
評価方法									
評価指標		定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)		70	30	-	-	-	-	100	
教科書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版 医歯薬出版 ￥4,800+税								
教材・参考図書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 第1版 医歯薬出版 ￥4,600+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義内容の重要なポイントをノートに記録し、その内容を自宅で学習すること。 理解度に合わせて講義の日程や内容を変更・追加することがあるため、授業中の指示を確認すること。								

科目名	口腔解剖・歯牙解剖学					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	後期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	2 単位	
科目 責任者	大関 悟				科目 担当者	大関 悟				
科目 概要	歯・口腔の構造およびその周囲組織に関する基本的知識を修得する。また、歯・口腔の機能、組成に関する基本的知識を修得する。									
到達 目標	1. 口腔と顎顔面の基本的な構造と機能について理解する。 2. 顔面と口腔の発生について理解する。 3. 歯と歯周組織の構造と機能、及びそれらの発生過程を理解する。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	口腔とその周囲の解剖学(1)				口腔とは、			講義	大関	
2	口腔とその周囲の解剖学(2)				口腔を構成する骨			講義	大関	
3	口腔とその周囲の解剖学(3)				頭頸部の筋と作用			講義	大関	
4	口腔とその周囲の解剖学(4)				顎関節、口腔周囲の脈管			講義	大関	
5	口腔とその周囲の解剖学(5)				神経			講義	大関	
6	口腔とその周囲の解剖学(6)				唾液腺、咽頭と喉頭の構造			講義	大関	
7	歯の形態(1)				歯の解剖学総論、			講義	大関	
8	歯の形態(2)				永久歯の特徴①			講義	大関	
9	歯の形態(3)				永久歯の特徴②			講義	大関	
10	歯の形態(4)				乳歯			講義	大関	
11	歯の形態(5)				歯の異常、歯列と咬合			講義	大関	
12	歯および歯周組織の構造と機能(1)				エナメル質、象牙質・歯髄複合体			講義	大関	
13	歯および歯周組織の構造と機能(2)				セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉			講義	大関	
14	顔面と口腔の発生				顔面の発生、口腔の形成、口蓋の発生、 口蓋裂が生じる理由、舌・腺の発生			講義	大関	
15	歯と歯周組織の発生				先行歯の発生、代生歯および加生歯の発生 歯の萌出、歯の脱落と交換			講義	大関	
評価方法										
評価指標	定期試験	中間試験	-	-	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	-	100		
教科書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版 医歯薬出版 ￥4,800+税									
教材・参考図書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 第1版 医歯薬出版 ￥4,600+税									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。									

科目名	口腔生理学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	加藤 健一				科目 担当者	加藤 健一			
科目 概要	人体の基礎となる遺伝子や細胞レベルから、体を構成する組織に至るまでを広く学び、生体の基礎を理解する。さらに、各組織、臓器の機能を理解するとともに、体全体の生理機能を正常に営む上で、各機能がどのように有機的つながりもち、かつ作用しあっているかを理解する。								
到達 目標	1. 細胞や遺伝子、各組織の構造・機能連関について説明することができる。 2. 体を構成する各臓器の機能を説明することができる。 3. 口腔に関係する生理学的機能を説明することができる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	生理学とは 筋と運動			内部環境とホメオスタシスについて理解できる。 筋運動について理解できる。				講義	加藤
2	消化・吸収（１）			口腔から胃までの消化機能を理解できる。				講義	加藤
3	消化・吸収（２）			小腸から大腸、排便機能を理解できる。				講義	加藤
4	循 環（１）			血液・循環系の機能について理解できる。				講義	加藤
5	循 環（２）			循環系の調節、心電図について理解できる。				講義	加藤
6	感覚・神経			感覚系、神経、脳波などについて理解できる。				講義	加藤
7	呼 吸			呼吸器官の機能やその調節について理解できる。				講義	加藤
8	腎機能と排尿			腎機能、尿の生成、排尿機能について理解できる。				講義	加藤
9	内分泌・生殖			ホルモンの作用機序、生殖機能を理解できる。				講義	加藤
10	体 温			体温調節のメカニズムについて理解できる。				講義	加藤
11	歯・口腔・顔面の感覚			顔面を中心に温冷痛覚の機能を理解できる。				講義	加藤
12	味覚と嗅覚			味覚と嗅覚の機能について理解できる。				講義	加藤
13	咬合と咀嚼・吸啜			咬合、咀嚼、吸啜の機能を理解できる。				講義	加藤
14	嚥下と嘔吐			嚥下・嘔吐の機能を理解できる。				講義	加藤
15	発声・発語、唾液			発声のメカニズム、唾液分泌機能を理解できる。				講義	加藤
評価方法									
評価指標	定期試験	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 第1版 医歯薬出版 ¥4,600+税 前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版 ¥4,800+税								
教材・参考図書	適宜指定する。								
オフィスアワー	適宜報告する。								
履修上の 注意点	人体についての基礎知識であり、薬理学、病理学、内科学などを理解する上で必須のものであるため、授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず調べたり、質問したりして解決する習慣を身につけること。								

科目名	口腔生化学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	田淵 弘太郎				科目 担当者	田淵 弘太郎			
科目 概要	人体の構造と機能は、目に見えない生体分子の生化学反応によって営まれており、あらゆる病気の背景には、分子レベルの異常が存在する。本講義では口腔における物質の代謝と機能に関する基本的な知識について講義する。								
到達 目標	① 口腔に関する組織、化学的組成を説明できる。 ② 硬組織形成を説明できる。 ③ 唾液の成分を説明できる。 ④ デンタルプラークとう蝕、歯周疾患との関係を説明できる。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	オリエンテーション				細胞の機能、生体の構成要素			講義	田淵
2	栄養素(1)				糖質、タンパク質、脂質			講義	田淵
3	栄養素(2)				ビタミン、無機物			講義	田淵
4	生体の化学反応				消化酵素の働き			講義	田淵
5	歯と歯周組織の生化学(1)				口腔組織の組成と生理的機能			講義	田淵
6	歯と歯周組織の生化学(2)				歯の無機成分と有機成分			講義	田淵
7	歯と歯周組織の生化学(3)				歯の石灰化			講義	田淵
8	硬組織の生化学(1)				骨と歯の石灰化とその特徴			講義	田淵
9	硬組織の生化学(2)				カルシウムとリン酸代謝			講義	田淵
10	硬組織の生化学(3)				骨芽細胞、破骨細胞、血清カルシウムの調節			講義	田淵
11	唾液の生化学(1)				唾液の組成と作用			講義	田淵
12	唾液の生化学(2)				唾液の分泌調節、全身的疾患との関係			講義	田淵
13	プラークの生化学(1)				プラークの種類と形成			講義	田淵
14	プラークの生化学(2)				プラークと口腔疾患			講義	田淵
15	プラークの生化学(3)				口臭と歯周疾患の発症機構			講義	田淵
評価方法									
評価指標		定期試験	中間試験	レポート	-	-	-	合計	
評価割合(%)		70	20	10	-	-	-	100	
教科書	高橋 信博 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学 第1版 医歯薬出版 ¥2,300+税								
教材・参考図書		適宜紹介する。							
オフィスアワー		講義の前後							
履修上の 注意点		各授業後には指示したレポート作成や復習を行うこと。また、授業の8回目終了後に中間試験、15回目の終了後に期末試験を実施する。							

科目名	病理学・口腔病理学					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位	
科目 責任者	谷口 邦久				科目 担当者	谷口 邦久				
科目 概要	口腔疾患および関連する全身疾患の原因、発生機序、経過、転帰および病態の特徴などを理論的に理解し、臨床歯科医学における診断、治療、予防との関わりを知るとともに、歯科衛生士としての口腔保健衛生に関わる疾病の予防や歯科処置の知識、技能の向上を図る。									
到達 目標	口腔疾患や関連の全身疾患を挙げることができる。全身疾患の基本的病変を説明できる。各種口腔疾患の病態の特徴を挙げることができる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	1 章 病理学序論・病因論、 2 章 遺伝性疾患と先天異常			内因、外因、遺伝、遺伝性疾患、先天異常（奇形）				講義	谷口	
2	3 章 循環障害 4 章 代謝障害と退行性病変			循環障害の種類、定義、原因、病態、側副循環細胞傷害、変性と物質代謝障害、萎縮、細胞死				講義	谷口	
3	5 章 増殖と修復			肥大、化生、再生・修復、創傷治癒、異物処理				講義	谷口	
4	6 章 炎症			炎症：定義、原因、炎症に関わる細胞、炎症の分類（急性、慢性）、滲出性炎、肉芽腫性炎				講義	谷口	
5	6 章 免疫応答異常			アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全、移植免疫				講義	谷口	
6	7 章 腫瘍			腫瘍(定義、発生機序、種類、腫瘍診断				講義	谷口	
7	1 章 歯の発育異常 2 章 歯の損傷と着色・付着物			歯の異常、歯の物理的損傷、化学的損傷、歯の着色、プラークと歯石				講義	谷口	
8	3 章 う蝕			う蝕の病因、う蝕の分類、う蝕の組織学的変化				講義	谷口	
9	4 章 象牙質・歯髄複合体の病態			歯髄炎、歯髄の退行性病変、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症				講義	谷口	
10	5 章 歯周組織の病態			根尖部歯周組織の病変、辺縁部歯周組織の病変				講義	谷口	
11	6 章 口腔粘膜の病変			口腔粘膜疾患(カンジダ症、扁平苔癬、舌の病変)				講義	谷口	
12	7 章 口腔領域の嚢胞と腫瘍			口腔の嚢胞(歯源性・非歯源性)、口腔の腫瘍(歯源性・非歯源性)				講義	谷口	
13	8 章 口腔癌 9 章 顎骨の病変			上皮性潜在的悪性疾患(白板症、上皮内癌、口腔扁平上皮癌)、顎骨骨髓炎、腫瘍様病変、顎関節の病変				講義	谷口	
14	10 章 唾液腺の病変 11 章 口腔領域の奇形			流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、顔面と口腔の披裂、発育異常、奇形症候群				講義	谷口	
15	12 章 口腔組織の加齢変化			歯、歯髄、歯周組織、顎骨、舌、唾液腺などの変化				講義	谷口	
評価方法										
評価指標		定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)		90	10	-	-	-	-	100		
教科書	仙波伊知郎 他 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 第 1 版 医歯薬出版 ￥3,800＋税									
教材・参考図書	新口腔病理学（医歯薬出版）、新・歯科衛生士教育マニュアル 病理学（クインテッセンス出版）									
オフィスアワー	毎週火曜、木曜：16:00～17:30									
履修上の 注意点	教科書と講義ノートを必ず持参し、授業内容を把握し、講義内容をノートに取ること。									

科目名	歯科薬理学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	加藤 健一				科目 担当者	加藤 健一			
科目 概要	人体の生理機能を復習しながら体内での薬物動態を理解する。さらに、患者が服用している薬に対する理解や歯科治療に用いる薬の理解を深めることで、歯科衛生士として患者への適切な臨床対応が取れるようにする。								
到達 目標	① 薬がどのような作用機序で疾患を改善していくかを説明できる。 ② 患者が服用している薬を理解することで、より適切な臨床対応について説明することができる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	薬物の作用と薬物動態			薬物についての基礎知識と薬物の生体内での動態について理解できる。				講義	加藤
2	薬物の適用法の種類他			薬物の適用法の違いと特徴を理解できる。				講義	加藤
3	薬物に影響を与える因子他			薬物に影響を与える因子や副作用を理解できる。				講義	加藤
4	薬品を適用するときの注意			薬物適用時の注意点、取扱いを理解できる。				講義	加藤
5	薬物と法律			医薬品の分類、取扱い時の注意点を理解できる。				講義	加藤
6	ビタミン・ホルモン、末梢神経系の薬物			薬物としてのビタミン、ホルモン、また末梢神経に作用する薬物を理解できる。				講義	加藤
7	中枢神経に作用する薬物			中枢神経に作用する薬物を理解できる。				講義	加藤
8	循環・腎・呼吸器系に作用する薬物			循環・腎・呼吸器系に作用する薬物について理解できる。				講義	加藤
9	消化器系・血液に作用する薬物			消化器系、血液凝固・抗凝固に作用する薬物を理解できる。				講義	加藤
10	免疫・腫瘍に作用する薬物他			免疫・腫瘍・代謝疾患に作用する薬物を理解できる。				講義	加藤
11	炎症・痛みに作用する薬物			炎症・痛みを抑制する薬物を理解できる。				講義	加藤
12	局所麻酔薬			局所麻酔薬の作用などについて理解できる。				講義	加藤
13	抗感染症・消毒薬			抗感染症薬と消毒薬について理解できる。				講義	加藤
14	う蝕予防・歯内療法薬			う蝕予防・歯内療法薬について理解できる。				講義	加藤
15	歯周病薬他			歯周病治療薬・口腔粘膜疾患に作用する薬物を理解できる。また、漢方薬についても学ぶ。				講義	加藤
評価方法									
評価指標	定期試験	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	鈴木 邦明 他 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版 医歯薬出版 ¥3,400+税								
教材・参考図書	適宜指定する。								
オフィスアワー	適宜報告する。								
履修上の 注意点	薬の人体への作用を理解する。患者が処方されている薬を理解することで、より適切な臨床対応ができるような知識を身に付けること。授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず自分で調べ、考え、質問し、解決する習慣を身につけること。								

科目名	口腔微生物学					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	2 単位	
科目 責任者	中山 浩次				科目 担当者	中山 浩次				
科目 概要	微生物学とは、感染症の成り立ちを知る学問である。そのためには、個々の微生物の病原性について理解することはもちろん、生体の防御能についても知る必要がある。感染症の成り立ち、微生物側の病原性、宿主防御機構と免疫について概説する。									
到達 目標	1．疾病と微生物について説明できる。 2．微生物の病原性について説明できる。 3．宿主防御機構について説明できる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	疾病と微生物 1			疾病と微生物、免疫学				講義	中山	
2	疾病と微生物 2			感染と感染症				講義	中山	
3	微生物の病原性 1			微生物の位置づけ				講義	中山	
4	微生物の病原性 2			細菌				講義	中山	
5	微生物の病原性 3			マイコプラズマ属, スピロヘータ, リケッチア, クラミジヤ, ウイルス				講義	中山	
6	微生物の病原性 4			歯科に関連するウイルスとウイルス感染症 その他の微生物（真菌・原虫）				講義	中山	
7	宿主防御機構と免疫 1			宿主防御機構				講義	中山	
8	宿主防御機構と免疫 2			免疫機構				講義	中山	
9	口腔微生物学 1			口腔細菌叢				講義	中山	
10	口腔微生物学 2			デンタルプラーク				講義	中山	
11	口腔感染症 1			う蝕・歯内感染症				講義	中山	
12	口腔感染症 2			歯周病・その他の口腔感染症				講義	中山	
13	化学療法 1			化学療法と化学療法学				講義	中山	
14	化学療法 2			抗菌スペクトル、生体内動態、薬剤感受性試験 他				講義	中山	
15	院内感染対策と滅菌・消毒			口腔感染症と院内感染症対策、滅菌消毒と方法				講義	中山	
評価方法										
評価指標		定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)		80	20	-	-	-	-	100		
教科書	木村 重信 他 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第 2 版 医歯薬出版 ￥3,400+税									
教材・参考図書		適宜紹介する。								
オフィスアワー		講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点		講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	口腔衛生学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	通年	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	3 単位
科目 責任者	本川 渉				科目 担当者	本川 渉			
科目 概要	健康寿命の延伸に向けた歯・口腔の健康を維持・向上のために必要な知識を習得する。 口腔清掃の基本的知識を学び、う蝕予防の考え方、フッ化物に関する基礎知識とう蝕予防方法、歯科疾患の疫学についての知識を修得する。								
到達 目標	1. 歯・口腔の健康と予防について説明できる。 2. う蝕の発生要因とリスク要因が説明できる。 3. フッ化物の基礎知識、中毒、う蝕予防方法について説明できる。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	総説 (1) 口腔衛生学の意義				口腔と健康, 歯・口腔の発育と変化			講義	本川
2	総説 (2)				口腔環境, 歯・口腔の不潔			講義	本川
3	プラークコントロールの意義				口腔清掃の種類, 口腔清掃用具の種類, 歯磨剤			講義	本川
4	口腔清掃				洗口剤の組成と配合目的・薬効, ブラッシング法と特徴, 為害作用, 歯垢染色剤, 舌清掃の方法			講義	本川
5	う蝕の予防				う蝕の有病状況・発生要因と機序, 初期う蝕と再石灰化, う蝕の活動性, う蝕活動性試験			講義	本川
6	う蝕の予防方法 (1)				第 1～3 次予防, フッ化物の分布, フッ化物の摂取と代謝・毒性, う蝕予防機序			講義	本川
7	う蝕の予防方法 (2)				う蝕予防への全身応用・局所応用, う蝕予防効果			講義	本川
8	歯周病の予防 (1)				基礎知識			講義	本川
9	歯周病の予防 (2)				予防方法			講義	本川
10	う蝕に関する指標,				DMF 率, DMF 指数, dmf 率, def 率, dmf 指数, def 指数			講義	本川
11	歯周病に関する指標 (1)				PMA Index, PI, PDI			講義	本川
12	歯周病に関する指標 (2)				GB Count, GI, CPI			講義	本川
13	口腔清掃状態に関する指標 (1)				OHI, DI, CI, OHI-S			講義	本川
14	口腔清掃状態に関する指標 (2)				PHP, PII, PCR,			講義	本川
15	歯のフッ素症に関する指標				CFI, 不正咬合に関する指標			講義	本川
16	その他の歯科疾患の予防 (1)				不正咬合の予防, 口臭の予防			講義	本川
17	その他の歯科疾患の予防 (2)				その他の歯科疾患・異常の予防			講義	本川
18	地域歯科保健活動 基礎知識 (1)				地域口腔保健活動の意義, WHO 憲章, プライマリヘルスケア, ヘルスプロモーション, 口腔保健活動の目標, 対象と活動分野, ライフステージ別の口腔保健の課題			講義	本川
19	地域歯科保健活動 基礎知識 (2)				口腔保健教育, 歯・口腔の健康診査と事後措置, 地域特性の把握と地域口腔活動保健の進め方, 歯科衛生士の役割			講義	本川
20	地域歯科保健				市町村と都道府県の歯科保健業務, 保健所の歯科保健業務, 市町村保健センターの歯科保健業			講義	本川

		務, 8020 運動, 国民健康づくり対策					
21	母子歯科保健(1)	母子歯科保健の意義, 妊産婦・乳幼児の口腔保健, 妊産婦・乳幼児の歯科健康診査と保健指導	講義	本川			
22	母子歯科保健(2)	1 歳 6 か月児歯科健康診査と保健指導	講義	本川			
23	母子歯科保健(3)	3 歳児歯科健康診査と保健指導,	講義	本川			
24	学校歯科保健(1)	歯・口の健康づくりの領域と構造 a. 保健教育 b. 保健管理 c. 組織活動 学校歯科医	講義	本川			
25	学校歯科保健(2)	特別支援教育での保健管理 歯・口腔の健康診断と事後措置	講義	本川			
26	産業歯科保健 〈職域口腔保健〉	職業性歯科疾患, 歯の酸蝕症	講義	本川			
27	産業歯科保健 〈職域口腔保健〉	産業歯科保健活動 a. 産業歯科医 b. 歯科健康診断 c. トータルヘル スプロモーション 〈THP〉における歯科保健活動, 職域での口腔保健管理	講義	本川			
28	成人・高齢者・要介護者・障害 者歯科保健	成人・高齢者の歯科保健に関連する法律等に基づ く保健事業 a. 口腔の健康教育 b. 口腔の健康相談 c. 歯周疾 患検診 d. 介護予防（オーラルフレイル） e. 口腔 保健に関する訪問指導（居宅療養管理指導） 要支援・要介護・障害者への歯科保健（介護保険法、 介護予防）	講義	本川			
29	災害時の歯科保健	大規模災害時の保健医療対策 被災地での歯科保健活動	講義	本川			
30	国際歯科保健	世界の歯科保健の現状 開発途上国への歯科保健医療協力	講義	本川			
評価方法							
評価指標	定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	100
教科書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版- 学建書院 ￥3,000＋税						
教材・参考図書	足立 三枝子 他 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 医歯薬出版 ￥3,200＋税						
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。						
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。						

科目名	歯科衛生統計					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	大神 啓裕				科目 担当者	大神 啓裕			
科目 概要	疫学と EBM の概念を理解し、臨床や地域保健の場で得られた情報を客観的に評価し分析する能力を修得する。歯科衛生統計を日常臨床や公衆衛生の場で役立てられるよう、分析などの手順に関する基本的事項、歯科疾患の疫学的特徴や評価法について理解する。								
到達 目標	1. 疫学と EBM の概念を説明できる。 2. 疫学の研究方法およびスクリーニング検査について説明できる。 3. 歯科保健に関する指数、歯科保健指標について説明できる。 4. 齲蝕、歯周疾患、口腔清掃状態の指数を計算できる。 5. 歯科衛生統計の調査結果から口腔保健の動向について考察することができる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	疫学概論 疫学の方法			疫学とは, EBM, 観察疫学, 介入研究,				講義	大神
2	歯科疾患の指標 (1)			う蝕・歯周病に関する指標				講義	大神
3	歯科疾患の指標 (2)			歯周病・口腔清掃状態に関する指標				講義	大神
4	歯科疾患の指標 (3)			口腔清掃状態・歯のフッ素症・不正咬合に関する指標				講義	大神
5	歯科疾患の疫学			う蝕の疫学 (宿主要因・環境要因・病因・時間要因との関連), 歯周病の疫学 (宿主要因・環境要因・病因との関連), 歯の喪失の疫学, 口腔の悪性新生物の疫学				講義	大神
6	衛生統計の基礎 (1) 疫学調査の進め方 データのまとめ方			母集団と標本, 標本調査, データの尺度, 度数分布, 代表値と散布度, 単純集計, クロス集計				講義	大神
7	衛生統計の基礎 (2) データの分析法 検定結果の解釈			推定と検定, 相関 標本平均値の差の検定, カイ二乗検定				講義	大神
8	歯科保健統計			歯科疾患実態調査, 国民健康・栄養調査, 学校保健統計調査, 患者調査				講義	大神
評価方法									
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第 4 版- 学建書院 ￥3,000+税 眞木 吉信 他 歯科衛生シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学 第 1 版 医歯薬出版 ￥2,800+税								
教材・参考図書	可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 1 版 医歯薬出版 ￥5,800+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	衛生学・公衆衛生学					歯科衛生科			
学年	2 年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単 位 数	1 単位
科目 責任者	本川 渉				科目 担当者	本川 渉			
科目 概要	人びとを取り巻く様々な環境における健康と疾病、予防医学の概念や、法律・制度などの基本的な社会の仕組みについて理解し、現在の日本における保健・医療・福祉の現状を理解する。またその中で行われる保健活動におけるの歯科衛生士の役割を学修する。								
到達 目標	1. 健康・予防医学の概念が理解できる。 2. 疫学の定義や研究方法が理解できる。 3. 人口の動向や人口統計について理解できる。 4. 健康と環境の関係や、環境破壊、公害問題が理解できる。 5. 感染症の概念やその予防策が理解できる。 6. 食中毒の分類と特徴が説明できる。 7. 各ライフステージにおける健康に関する知識、および行政の制度や保健活動における歯科衛生士の役割を理解する。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	総論 健康の概念と保持増進			健康の概念、予防の考え方と適用、第一次予防・第二次予防・第三次予防				講義	本川
2	疫学			疫学の定義および概要、疫学の方法				講義	本川
3	人口			人口の動向、人口動態統計、生命表				講義	本川
4	健康と環境（1）			環境の概念、空気・水と健康、放射線と健康				講義	本川
5	健康と環境（2）			住居・衣服と健康、地球環境の変化と健康への影響、				講義	本川
6	健康と環境（3）			公害と健康への影響、廃棄物処理				講義	本川
7	感染症			感染症の成り立ち、感染症の予防、感染症の動向				講義	本川
8	食品と健康			食品保健、栄養と健康				講義	本川
9	地域保健・公衆衛生（1）			地域社会と地域保健の概念、地域保健の組織				講義	本川
10	地域保健・公衆衛生（2）			地域保健の新たな概念、地域保健活動の進め方、健康づくり対策と地域歯科保健				講義	本川
11	母子保健			目的および概要、母子保健、小児保健、歯・口腔について、母子保健の現状と今後				講義	本川
12	学校保健			意義および概要、活動と組織、学校歯科保健				講義	本川
13	成人保健、産業保健			成人保健の意義と特徴、成人保健活動の現状、成人保健対策、成人期の歯科保健、産業保健の概念、職業性疾病、産業保健管理、産業保健活動				講義	本川
14	高齢者保健、精神保健、障害者への歯科保健			高齢者保健の意義、行政組織と関係する法律、精神保健とは、精神保健のあゆみ、精神保健・医療・福祉、精神障害者の歯科保健				講義	本川
15	災害時の歯科保健、国際保健			大規模災害時の保健医療対策、被災地での歯科保健活動、歯科衛生士の役割、開発途上国における健康問題、SDGs、国際協力、口腔保健の状況				講義	本川

評価方法							
評価指標	定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	70	30	-	-	-	-	100
教科書	可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 1 版 医歯薬出版 ¥5,800+税						
教材・参考図書	末高 武彦 他 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第 10 版 医歯薬出版 ¥2,800+税 末高 武彦 他 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第 1 版 医歯薬出版 ¥2,800+税 荒川 浩久 他 医療スタッフのための衛生学エッセンス -2022/2023- 第 6 版 学建書院 ¥2,500+税						
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。						
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。						

科目名	衛生行政					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	中島 由香				科目 担当者	中島 由香			
科目 概要	歯科医療の現場において、歯科衛生業務を提供するうえで必要な法律や制度、行政の基本的仕組みを体系的に学修する。								
到達 目標	1. 歯科衛生士法における歯科衛生士資格とその業務について説明できる。 2. 歯科医師・歯科技工士に関する法律が理解できる。 3. 医療法や、歯科口腔保健の推進に関する法律の概要が理解できる。 4. 歯科衛生士と関わる医療関係者の関連法規や、業務内容が理解できる。 5. 歯科医療従事者数の推移や、国民の受療状況や医療費の動向が説明できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	歯科衛生士と法律 (1)			衛生行政の目的と組織、歯科衛生士法				講義	中島
2	歯科衛生士と法律 (2)			歯科衛生士法				講義	中島
3	歯科衛生士と法律 (3)			歯科医師法、歯科技工士法、歯科口腔保健の推進に関する法律、医療法				講義	中島
4	医療関係職種 (1)			歯科医療と係る医療関係者、保健師助産師看護師法				講義	中島
5	医療関係職種 (2)			診療放射線技師、言語聴覚士、医師法、薬剤師法、その他の医療関係職種に係る法律				講義	中島
6	その他の関係法規 (1)			薬事に関連する法規				講義	中島
7	その他の関係法規 (2)			地域保健に関連する法規、その他の衛生法規				講義	中島
8	医療の動向			医療状況の動向				講義	中島
評価方法									
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	平田 創一郎 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉 第1版 医歯薬出版 ￥2,800+税								
教材・参考図書	末高 武彦 他 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第10版 医歯薬出版 ￥2,800+税 末高 武彦 他 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第1版 医歯薬出版 ￥2,800+税 荒川 浩久 他 医療スタッフのための衛生学エッセンス -2022/2023- 第6版 学建書院 ￥2,500+税								
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	社会福祉論					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	有菌 享平				科目 担当者	有菌 享平			
科目 概要	社会保障制度に基づいて行われる医療・保険・福祉に関する知識を体系的に学修し、歯科医療の現場において社会背景を常に意識した適切な歯科衛生士業務が展開できる能力を修得する。								
到達 目標	1. 社会保障の種類について列挙できる。 2. 各社会保険の種類と特徴、仕組みについて理解できる。 3. 歯科衛生士に関係する社会福祉について理解できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	社会保障			我が国の社会保障制度、社会保険				講義	有菌
2	医療保険（1）			医療制度改革、医療保険の種類				講義	有菌
3	医療保険（2）			健康保険、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、審査支払機関				講義	有菌
4	介護保険（1）			保険者と被保険者、要介護認定				講義	有菌
5	介護保険（2）			保険給付、地域包括支援センター				講義	有菌
6	年金保険雇用保険と労働者災害補償保険			年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険				講義	有菌
7	社会福祉（1）			社会福祉行政、生活保護と法規、児童と家庭の福祉制度と法規				講義	有菌
8	社会福祉（2）			障害者の福祉制度と法律、老人福祉法				講義	有菌
評価方法									
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	平田 創一郎 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉 第1版 医歯薬出版 ￥2,800+税								
教材・参考図書	末高 武彦 他 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第10版 医歯薬出版 ￥2,800+税 末高 武彦 他 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第1版 医歯薬出版 ￥2,800+税 荒川 浩久 他 医療スタッフのための衛生学エッセンス -2022/2023- 第6版 学建書院 ￥2,500+税								
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	歯科衛生士概論					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	眞武 郁				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	保健、医療、福祉に関わることの意義をみつけ、専門職として必要な知識や対象とする人のニーズの把握の仕方、さらに歯科衛生業務を実践するために必要な考え方を修得する。									
到達 目標	1. 歯科衛生士法と 3 大歯科衛生業務を理解する。 2. 医療倫理、医療安全管理およびチームアプローチについて理解する。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	歯科衛生学とは（1 章）				歯科衛生学の定義			講義	貴島	
2	歯科衛生の歴史（2 章）				歯科衛生の誕生と経緯, 歯科衛生の背景			講義	前田	
3	歯科衛生活動のための理論（3 章）				ICF, EBM, 批判的思考, 保健行動の理論, ヒューマンニーズ理論			講義	前田	
4	化粧療法				ライフクオリティビューティセミナー			講義	眞武	
5	化粧療法				ライフクオリティビューティセミナー			演習	眞武	
6	歯科衛生過程（4 章）				歯科衛生過程の 6 つの構成要素			講義	貴島	
7	自分の目指す歯科衛生士像(1)				医療従事者の身だしなみ ①			演習	眞武	
8	自分の目指す歯科衛生士像(2)				医療従事者の身だしなみ ②			演習	眞武	
9	歯科衛生士法と歯科衛生業務（5 章）				歯科衛生士と歯科衛生士法			講義	前田	
10	歯科衛生士と医療倫理（6 章）				医の倫理と患者の権利			講義	田頭	
11	歯科衛生士の活動と組織（7 章）(1)				歯科衛生活動の現況			講義	田頭	
12	歯科衛生士の活動と組織（7 章）(2)				歯科衛生士の活動と組織			講義	田頭	
13	プラークコントロール(1)				歯周病リスクファクターと全身疾患の関係			講義	眞武	
14	プラークコントロール(2)				口内フローラについて			講義	眞武	
15	海外における歯科衛生士（8 章）				海外における歯科衛生士のあゆみと現状			講義	貴島	
評価方法										
評価指標	定期試験	レポート	-	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	50	50	-	-	-	-	-	100		
教科書	遠藤 圭子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 第 1 版 医歯薬出版 ¥2,700 税									
教材・参考図書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版 医歯薬出版 ¥8,300+税 合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 2 版 医歯薬出版 ¥6,800+税 可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 1 版 医歯薬出版 ¥5,800+税									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。									

科目名	医療倫理学					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	升井 一朗				科目 担当者	升井 一朗、中山 敬介			
科目 概要	新しい医の倫理の原則を学ぶとともに、歯科衛生士に求められる職業人としての心構えやインフォームド・コンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術やその基礎となる行動科学について学修する。								
到達 目標	1. 医療倫理とは何か。簡潔に説明できる。 2. 医の倫理に関する宣言等を理解する。 3. インフォームド・コンセント、インフォームド・リフューザル、インフォームド・チョイスについて説明できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	医療倫理			新しい医の倫理の原則				講義	升井
2	医療倫理に関する規範			医の倫理に関する宣言 ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言, 医の倫理の国際綱領, ニュルンベルク綱領, ヘルシンキ宣言 リスボン宣言				講義	升井
3	バイオエシックス (生命倫理学)			職業倫理に関する規範, バイオエシックスとは 生命倫理, インフォームド・リフューザル 安楽死, 尊厳死, 脳死 臓器移植, 遺伝子治療, 再生医療				講義	升井
4	インフォームド・コンセント			インフォームド・チョイス, セカンドオピニオン				講義	升井
5	研究と医療倫理の関わり			人を対象とした研究の倫理指針				講義	中山
6	歯科医療倫理の行動科学			生活行動, 保健行動, QOL				講義	中山
7	倫理的問題への対処			守秘義務, 著作権法, 臨床での問題事例				講義	中山
8	医療倫理の規範と法令 まとめ			職業倫理に関する規範				講義	中山
評価方法									
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	梶 則章 他 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学 第1版 医歯薬出版 ￥2,200+税								
教材・参考図書	遠藤 恵子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 第1版 医歯薬出版 ￥2,700+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	保存修復学・歯内療法学					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	田代 剛、辻本 真規				科目 担当者	田代 剛、辻本 真規			
科目 概要	歯の保存修復治療および歯内療法について理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達 目標	1. 歯の硬組織疾患の種類とその治療法における歯科衛生士の役割を理解する。 2. 歯内療法領域の主な疾患の種類とその治療法における歯科衛生士の役割が理解する。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	歯の保存療法とは		歯の保存療法の種類、口腔検査（歯の硬組織検査）				講義	田代	
2	保存修復（1）		保存修復の概要				講義	田代	
3	保存修復（2）		直接法修復（コンポジットレジン修復）				講義	田代	
4	保存修復（3）		直接法修復（セメント修復、アマルガム修復の現状）				講義	田代	
5	保存修復（4）		間接法修復（メタルインレーおよびアンレー修復、セラミックインレー修復、コンポジットレジンインレー修復）				講義	田代	
6	保存修復（5）		間接法修復（ベニア修復、合着材・接着材）				講義	田代	
7	保存修復（6）		保存修復における歯科衛生士の役割（検査・診断時の業務、直接修復の診療補助）				講義	田代	
8	保存修復（7）		保存修復における歯科衛生士の役割（直接・間接修復の診療補助、保存修復時の補助手技、器材・薬剤の保管・管理）				講義	田代	
9	歯内療法（1）		歯内療法の概要				講義	辻本	
10	歯内療法（2）		歯髄保存療法、歯髄の除去療法				講義	辻本	
11	歯内療法（3）		根管治療				講義	辻本	
12	歯内療法（4）		根管充填				講義	辻本	
13	歯内療法（5）		外科的歯内療法、歯の外傷				講義	辻本	
14	歯内療法（6）		安全対策、歯内療法における歯科衛生士の役割（検査・診断時の業務、歯髄処置時の診療補助業務）				講義	辻本	
15	歯内療法（7）		歯内療法における歯科衛生士の役割（歯髄処置時の診療補助業務）				講義	辻本	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	70	30	-	-	-	-	-	100	
教科書	千田 彰 他 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 第1版 医歯薬出版 ￥4,300+税								
教材・参考図書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 ￥6,800+税 末瀬 一彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 第1版 医歯薬出版 ￥3,200+税 末瀬 一彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版 ￥3,500+税								
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	歯周病学					歯科衛生科			
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	金子 憲章				科目 担当者	金子 憲章			
科目 概要	歯周病を予防するために、歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達 目標	1. 歯周組織の構造や歯周疾患の基礎知識(分類と原因)、全身疾患との関連が理解できる。 2. さまざまな歯周治療や機能回復の内容および歯周治療における歯科衛生士の役割が理解できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	歯周治療の基礎知識 (1)			歯周治療とは、正常な歯周組織の構造と機能				講義	金子
2	歯周治療の基礎知識 (2)			歯周病の分類				講義	金子
3	歯周治療の基礎知識 (3)			歯周病の原因、歯周医学、インプラント周囲疾患				講義	金子
4	歯周治療の進め方			歯周病の予防と歯周治療の基本、歯周治療の進め方				講義	金子
5	歯周病の検査 (1)			主訴を中心とした一般検査、歯周病検査				講義	金子
6	歯周病の検査 (2)			咬合の診査、画像診断、その他の検査				講義	金子
7	歯周基本治療			歯周基本治療の目的と効果、内容と実際、薬物療法				講義	金子
8	歯周外科治療 (1)			歯周外科治療の目的と分類、歯周外科治療後の治癒形態、歯周外科治療に用いる器材				講義	金子
9	歯周外科治療 (2)			種々の歯周外科治療				講義	金子
10	歯周外科治療 (3)			根分岐部病変の治療、歯周-歯内病変の治療				講義	金子
11	口腔機能回復治療			咬合調整、歯周-矯正治療、歯の固定法、歯科用インプラントによる治療				講義	金子
12	メンテナンス			メンテナンスの重要性とその意義、メンテナンス・SPT の実際と内容				講義	金子
13	歯周治療における歯科衛生士の業務 (1)			歯周治療の進め方、検査・診断時の補助、リスクファクターに対する指導				講義	金子
14	歯周治療における歯科衛生士の業務 (2)			スケーリング・ルートプレーニング、歯周外科治療				講義	金子
15	歯周治療における歯科衛生士の業務 (3)			口腔機能回復治療、メンテナンス・SPT、診療室と器具・器材の管理				講義	金子
評価方法									
評価指標		定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)		80	20	-	-	-	-	100	
教科書	申基詰 他 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 第1版 医歯薬出版 ￥3,500+税								
教材・参考図書	講義時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	教科書および講義ノートを持参する。 各章ごとに復習し、講義内容を整理する。								

科目名	歯科補綴学					歯科衛生科			
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	新田 悟				科目 担当者	新田 悟			
科目 概要	歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部の歯の欠損に対する咬合回復の治療法に対する歯科衛生業務を行うために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達 目標	1. 歯および歯列の形態・位置的関係、顎口腔系の機能・咬合を説明できる。 2. 補綴歯科治療における歯科衛生士の役割が理解できる。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	補綴歯科診療の概要 (1)				補綴とは、補綴歯科治療の意義と目的、歯の欠損に伴う生理的变化			講義	新田
2	補綴歯科診療の概要 (2)				補綴歯科治療時の方法と補綴装置、補綴歯科治療における歯科衛生士の役割			講義	新田
3	補綴歯科治療の基礎知識 (1)				歯列と咬合、補綴学的基準平面			講義	新田
4	補綴歯科治療の基礎知識 (2)				口腔の機能、顎関節の構造・機能と病態			講義	新田
5	補綴歯科治療における検査(1)				医療面接、口腔内検査、画像検査、咬合と顎口腔機能の検査①			講義	新田
6	補綴歯科治療における検査(2)				咬合と顎口腔機能の検査②			講義	新田
7	クラウン・ブリッジ治療 (1)				治療の概要			講義	新田
8	クラウン・ブリッジ治療 (2)				治療の流れと診療の補助、患者への説明と指導、メンテナンス			講義	新田
9	クラウン・ブリッジ治療 (3)				治療に伴うトラブルとその対応			講義	新田
10	有床義歯治療 (1)				治療の概要			講義	新田
11	有床義歯治療 (2)				治療の流れと診療の補助、患者への説明と指導			講義	新田
12	有床義歯治療 (3)				治療に伴うトラブルとその対応			講義	新田
13	インプラント治療(1)				治療の流れと診療補助、治療の流れに沿った器材 無歯顎症例に対する治療			講義	新田
14	インプラント治療(2)				リコールとメンテナンス 上下無歯顎症例に対するインプラント治療、 治療に伴うトラブルとその対応			講義	新田
15	特殊な口腔内装置を用いる治療				顎顔面補綴、構音・嚥下機能の補助、顎関節症、 スポーツ外傷の予防、睡眠時無呼吸症候群			講義	新田
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	-	100	
教科書	赤川 安正 他 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第1版 医歯薬出版 ￥3,400+税								
教材・参考図書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	口腔外科・歯科麻酔学					歯科衛生科			
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	大関 悟				科目 担当者	本田 武司、大関 悟、升井 一郎、中山 敬介、 瀬戸 美夏			
科目 概要	歯科衛生業務を行うために必要な、顎口腔領域に生じる各種疾患の特徴と症状、診断法および治療法と、全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔を理解する。								
到達 目標	1. 口腔外科で取り扱う疾患の特徴と治療法における歯科衛生士の役割を説明できる。 2. 歯科診療における全身管理と麻酔法について説明できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	口腔外科の概要			口腔外科の特徴、口腔外科の対象疾患と分類、歯科診療で問題となる全身疾患				講義	本田
2	先天異常と発育異常			歯・口腔軟組織の異常、口唇・口蓋裂、顎変形症				講義	升井
3	損 傷			歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折および軟組織損傷				講義	中山
4	口腔粘膜疾患(1)			潰瘍、水疱、紅斑、びらん、白斑、口腔潜在的悪性疾患、				講義	大関
5	口腔粘膜疾患(2)			色素沈着、口腔乾燥、粘膜出血、その他の疾患				講義	大関
6	炎 症			歯槽部、顎骨および周囲組織の炎症（歯性感染）の原因、感染経路と症状および治療法				講義	中山
7	嚢胞性疾患			嚢胞とは、顎骨に発生する嚢胞、顎骨以外に発生する嚢胞、偽嚢胞				講義	中山
8	腫瘍および腫瘍類似疾患			腫瘍とは、良性腫瘍、歯源性・非歯源性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患				講義	大関
9	唾液腺疾患、血液疾患			唾液腺炎、流行性耳下腺炎、唾石症、唾液腺腫瘍 口腔に症状を現す血液疾患				講義	大関
10	顎関節疾患、口腔領域の神経疾患			顎関節疾患、三叉神経痛、顔面神経麻痺、神経痙攣				講義	升井
11	口腔外科診療の実際（1）			抜歯術、消炎手術、止血処置				講義	升井
12	口腔外科診療の実際（2）			嚢胞摘出術、歯根端切除術、良性腫瘍摘出術、歯槽骨整形術、小帯切除術				講義	大関
13	歯科治療と麻酔（1）			歯科麻酔と患者管理、局所麻酔				講義	瀬戸
14	歯科治療と麻酔（2）			口腔（歯科）心身症、精神鎮静法、全身麻酔				講義	瀬戸
15	歯科治療と麻酔（3）			歯科治療時の全身的偶発症、救急蘇生法				講義	瀬戸
評価方法									
評価指標	中間試験	期末試験	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	50	50	-	-	-	-	-	100	
教科書	山根 源之 他 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版 医歯薬出版 ￥3,400+税 野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第1版 医歯薬出版 ￥3,000+税								
教材・参考図書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	小児歯科学					歯科衛生科				
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	本川 渉				科目 担当者	本川 渉				
科目 概要	発育過程にある小児の身体的・心理的特徴について理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. 小児の発育段階とその特徴、対応法が説明できる。 2. 小児の歯科疾患の特徴とその治療法、歯科衛生士の役割が理解できる。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	小児歯科診療の基礎知識 (1)				小児歯科概論、心身の発育			講義	本川	
2	小児歯科診療の基礎知識 (2)				小児の生理的特徴、顔面頭蓋の発育			講義	本川	
3	小児歯科診療の基礎知識 (3)				歯の発育とその異常			講義	本川	
4	小児歯科診療の基礎知識 (4)				歯列・咬合の発育と異常			講義	本川	
5	小児歯科診療の基礎知識 (5)				小児の歯科疾患			講義	本川	
6	小児虐待、小児期の特徴と歯科的問題点				小児虐待とは、小児期の特徴と歯科的問題点			講義	本川	
7	小児歯科における患者との対応法				小児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係、小児の態度と行動、年齢別行動と対応法、歯科治療時の対応法			講義	本川	
8	小児歯科における診療体系 (1)				小児歯科診療の特徴、原則、診察・検査・診断、歯の健康教室、器材の管理			講義	本川	
9	小児歯科における診療体系 (2)				小児歯科における麻酔法、歯冠修復			講義	本川	
10	小児歯科における診療体系 (3)				歯内療法、外科処置			講義	本川	
11	小児歯科における診療体系 (4)				外傷の処置、咬合誘導			講義	本川	
12	小児歯科における診療体系 (5)				フッ化ジアンミン銀塗布、リコール			講義	本川	
13	障害児の歯科治療				主な障害と全身的・歯科的特徴、対応			講義	本川	
14	う蝕予防				ブラークコントロール、フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、代用甘味料、食生活指導			講義	本川	
15	小児の口腔健康管理				口腔健康管理の目的・方法			講義	本川	
評価方法										
評価指標		定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)		70	30	-	-	-	-	100		
教科書	大嶋 隆 他 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 第1版 医歯薬出版 ￥3,400+税									
教材・参考図書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税 高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第1版 医歯薬出版 ￥8,200+税									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。									

科目名	矯正歯科学					歯科衛生科				
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	吉田 智治				科目 担当者	吉田 智治				
科目 概要	不正咬合の症状および治療法について理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. 不正咬合と、その治療に使用する矯正装置の種類と構成、目的が説明できる。 2. 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割が理解できる。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	矯正歯科治療の概要				矯正歯科治療の目的、需要と必要性、ベネフィットとリスク、チーム医療			講義	吉田	
2	成長発育				身体の成長発育、頭蓋および顎顔面の成長発育、歯・歯列の成長・発育、口腔機能の発育			講義	吉田	
3	正常咬合と不正咬合				正常咬合、不正咬合（咬合異常）、分類、原因、予防			講義	吉田	
4	矯正歯科診断				診断、検査、症例分析、非拔牙治療と拔牙治療			講義	吉田	
5	矯正歯科治療と“力” -矯正力・顎整形力・保定-				歯の移動と固定、移動と組織反応、移動様式、矯正力と顎整形力、保定			講義	吉田	
6	矯正装置（1）				可撤式矯正装置、固定式矯正装置			講義	吉田	
7	矯正装置（2）				機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置、口腔習癖除去装置、保定装置			講義	吉田	
8	上下顎の前後的関係の不調和、 垂直の関係の不調和				Ⅰ級・Ⅱ級 1 類・Ⅱ級 2 類・Ⅲ級不正咬合、過蓋咬合・開咬、各治療の実際			講義	吉田	
9	成人矯正 口腔顎顔面の形成異常と変形				補助的・包括的矯正歯科治療、治療の実際、口唇・口蓋裂・先天異常、顎変形症			講義	吉田	
10	歯の埋伏と歯数の異常 矯正歯科治療時のトラブルへの対応 保険適用の矯正歯科治療				埋伏歯、先天欠如歯、過剰歯、う蝕・歯肉炎・歯周炎、歯根吸収、顎関節症、アレルギー、トラブルへの対応、健康保険が適用される矯正歯科治療			講義	吉田	
11	矯正歯科診療にかかわる業務 矯正歯科診療時の業務（1）				診断に関する診療補助、器具・材料の準備と取り扱い			講義	吉田	
12	矯正歯科診療時の業務（2）				可撤式・固定式（ディボンディング、バンド除去含む）・機能的矯正装置装着時の補助と指導			講義	吉田	
13	矯正歯科診療時の業務（3）				上顎側方拡大装置・顎外固定装置装着時の補助と指導			講義	吉田	
14	矯正歯科患者と口腔保健管理				患者へのアプローチ、口腔衛生管理、矯正装置の説明と保健指導の要点			講義	吉田	
15	口腔筋機能療法 器材、資料、文書の管理				口腔筋機能療法（MFT）、口腔周囲組織のアセスメント、MFT の指導計画、用いる器具、指導法、口腔習癖の改善、MFT の効果、器材、資料、文書の管理			講義	吉田	
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	-	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	70	30	-	-	-	-	-	100		

教科書	新井 一仁 他 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第2版 医歯薬出版 ￥3,600+税
教材・参考図書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科放射線学					歯科衛生科			
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	市原 隆洋				科目 担当者	市原 隆洋			
科目 概要	画像検査は歯科診療において欠かせないものであり、歯科衛生士はエックス線写真撮影時の補助として業務に携わっている。本科目は歯科領域の画像検査に関わる知識として放射線、画像形成、撮影法、放射線防護について学びます。また、撮影装置を用いた撮影準備や位置づけ演習にて実践的な手技を身に付けます。								
到達 目標	1. 放射線の種類とその影響を理解する。 2. 画像形成から画像管理までの一連の流れを説明できる。 3. 検査の特徴と撮影方法について説明できる。 4. 放射線防護の分類や体系について説明できる。 5. 口内法撮影およびパノラマエックス線撮影の曝射以外の行為ができる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	放射線について			放射線の種類と影響				講義	市原
2	エックス線画像形成			歯科撮影装置、画像システム、撮影後の処理				講義	市原
3	口内法撮影			口内法撮影の特徴、準備と手順				講義	市原
4	口外法撮影			口外法撮影の特徴、準備と手順				講義	市原
5	その他の撮影			CT、歯科用 CT、VF、MRI、US、核医学検査の特徴				講義	市原
6	放射線安全管理、その他			放射線防護の目的と管理、放射線治療について				講義	市原
7	まとめ			各単元の補足およびまとめ				講義	市原
8	撮影演習			口内法、パノラマエックス線撮影演習				演習	市原
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	80	10	10	-	-	-	-	100	
教科書	飯久保 正弘 他 歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版 学建書院 ￥2,600+税								
教材・参考図書	なし								
オフィスアワー	平日 16：30 以降								
履修上の 注意点	放射線や画像検査の原理は難解であるので、特に復習に重きをおいて行ってください。 教科書に記載されているQRコードから放射線の動画やアニメーションがみられるため、予習・復習時に利用してください。								

科目名	高齢者・障害者歯科学					歯科衛生科				
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	柿木 保明				科目 担当者	柿木 保明				
科目 概要	高齢者および障害者の身体的・精神的特徴と歯科治療について理解し、歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. 高齢者を取りまく環境や加齢変化を理解し、高齢者を支援するための歯科的方策における歯科衛生士の役割が理解できる。 2. 障害の概念や障害の種類と歯科的特徴について理解し、その歯科治療における歯科衛生士の役割が理解できる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	高齢者歯科 (1)		高齢者を取りまく社会				講義	柿木		
2	高齢者歯科 (2)		加齢の科学、身体・口腔機能の変化、精神・心理的变化				講義	柿木		
3	高齢者歯科 (3)		高齢者における口腔領域の疾患(1)				講義	柿木		
4	高齢者歯科 (4)		高齢者における口腔領域の疾患(2)				講義	柿木		
5	高齢者歯科 (5)		全身状態の把握と対応				講義	柿木		
6	高齢者歯科 (6)		高齢者歯科医療の場				講義	柿木		
7	高齢者歯科 (7)		口腔衛生管理				講義	柿木		
8	高齢者歯科 (8)		摂食嚥下障害とリハビリテーション				講義	柿木		
9	高齢者歯科 (9)		介護保険における歯科衛生士の役割				講義	柿木		
10	障害者歯科 (1)		障害者と社会福祉、地域医療と障害者歯科、歯科衛生士と障害者歯科				講義	柿木		
11	障害者歯科 (2)		障害の分類と特徴				講義	柿木		
12	障害者歯科 (3)		障害者歯科の診療補助、歯科衛生士と医療安全				講義	柿木		
13	障害者歯科 (4)		コミュニケーションの確立と行動調整				講義	柿木		
14	障害者歯科 (5)		障害者への歯科保健指導と管理、機能訓練				講義	柿木		
15	障害者歯科 (6)		障害者歯科の予防処置、医療連携と福祉との連携				講義	柿木		
評価方法										
評価指標		定期試験	中間試験	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)		70	30	-	-	-	-	100		
教科書	森戸 光彦 他 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第4版 永末書店 ￥3,600+税 柿木 保明 他 歯科衛生士講座 障害者歯科学 第3版 永末書店 ￥3,000+税									
教材・参考図書	植田 耕一郎 他 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 第1版 医歯薬出版 ￥4,400+税 菊谷 武 著 チェアサイドオーラルフレイルの診かた 第2版 保険対応！歯科医院で気づく、対応する口腔機能低下症 詳しくわかる動画付き 医歯薬出版 ￥6,000+税									
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。									

科目名	歯科予防処置論Ⅰ					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	通年	分野	専門	時間数	120 時間	単位数	4 単位	
科目 責任者	前田 豊美				科目 担当者	谷口 邦久、貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、 前田 豊美、的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。									
到達 目標	1. 歯科予防処置についての専門知識と技術、および態度を習得する目的と意義を理解するために、その概要について説明できる。 2. 歯・歯周組織と口腔の構造が説明できる。 3. 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理のための知識・技術および態度を修得する。 4. スケーラーの種類とその構造、使用目的が説明できる。 5. スケーラーを操作するための専門的知識と、それを実践できる技術を身につける。 6. 歯面研磨や歯面清掃の意義が説明でき、それに必要な器材の準備が実践でき、またそれを操作する技術を身につける。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	歯科予防処置論の概要				歯科予防処置の必要性、定義、法的位置づけ、予防の概念			講義	前田	
2	マネキン・歯牙模型の取扱い (1)				患者頭部の設定 (マシランゲル、ヘッドローテーション、ライティング)			実習	眞武・田頭	
3	術者の基本姿勢、術者の位置 基本セットの取扱い				ミラーテクニック、エキスプローリング ピンセット、歯の動揺度			講義・実習	眞武	
4	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (1)				歯周ポケット 歯周プローブの使用目的、 基本操作、ファークーションプローブ			講義・演習	田頭	
5	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (1)				手用スケーラーの構成・基本設定・種類と操 作方法 (シッケル型)			講義	前田	
6	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (2)				部位別操作法 (マネキン実習)：下顎前歯部			実習	前田	
7	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (3)				部位別操作法 (マネキン実習)：上顎前歯部			実習	前田	
8	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (2)				歯垢染色法 (歯垢染色剤の使用法と特徴、 所要条件、色素種類、5つの注意事項)			講義・実習	眞武	
9	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (4)				部位別操作法 (マネキン実習)：下顎右側臼 歯部			講義・実習	前田	
10	う蝕と歯周病の基礎知識 (1)				う蝕			講義	谷口	
11	う蝕と歯周病の基礎知識 (2)				歯周病			講義	谷口	
12	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (5)				部位別操作法 (マネキン実習)：下顎左側臼 歯部			実習	前田	
13	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (3)				分析のためのデータ 口腔衛生状態の指数 (PCR)			実習	眞武	
14	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (6)				部位別操作法 (マネキン実習)：上顎右側臼 歯部			実習	前田	
15	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (7)				部位別操作法 (マネキン実習)：上顎左側臼 歯部			実習	前田	
16	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (4)				分析のためのデータ 口腔衛生状態の指数 (OHI, OHI-S)			講義	眞武	

17	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (5)	分析のためのデータ 口腔衛生状態の指数 (P ₀ I, PHP)	講義	眞武
18	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (8)	シャープニング(シクル型スケーラー)	講義	前田
19	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (6)	歯周疾患の指数 (PMA 指数、歯周疾患指数、 歯肉炎指数)	講義	眞武
20	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (7)	歯周疾患の指数 (GI、GB Count)	講義	眞武
21	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (8)	歯周疾患の指数 (地域歯周疾患指数、根分歧 部検査の指数)	講義	眞武
22	基礎実習オリエンテーション(1)	歯科診療室の設備	講義	田頭
23	基礎実習オリエンテーション(2)	モリタ：歯科ユニットの取扱い	実習	田頭
24	基礎実習オリエンテーション(3)	モリタ：歯科ユニットの取扱い	実習	田頭
25	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (9)	患者（対象者）からの情報収集	講義	貴島
26	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (10)	口腔の器質的問題の把握① (1. 口腔内の観察～2. 検査項目 5) 唾液 2. 検査項目 6) 歯面の付着物・沈着物)	実習	貴島
27	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (11)	う蝕の指標 (DMF, def/dmf)	講義	眞武
28	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (12)	口腔の器質的問題の把握② (1. 口腔内の観察～2. 検査項目 5) 唾液 2. 検査項目 6) 歯面の付着物・沈着物)	実習	貴島
29	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (13)	口腔の器質的問題の把握③ (1. 口腔内の観察～2. 検査項目 5) 唾液 2. 検査項目 6) 歯面の付着物・沈着物)	実習	貴島
30	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (14)	口腔の器質的問題の把握④ (1. 口腔内の観察～2. 検査項目 5) 唾液 2. 検査項目 6) 歯面の付着物・沈着物)	実習	貴島
31	キュレット型スケーラー (1)	基本姿勢、把持法、種類、操作方法	講義	前田
32	キュレット型スケーラー (2)	部位別操作法 下顎前歯部	実習	前田
33	キュレット型スケーラー (3)	部位別操作法 上顎前歯部	実習	前田
34	キュレット型スケーラー (4)	部位別操作法 下顎右側臼歯部	実習	前田
35	キュレット型スケーラー (5)	部位別操作法 下顎左側臼歯部	実習	前田
36	キュレット型スケーラー (6)	部位別操作法 上顎右側臼歯部	実習	前田
37	キュレット型スケーラー (7)	部位別操作法 上顎左側臼歯部	実習	前田
38	歯面清掃・歯面研磨	歯面研磨 (ポリッシング) 目的、種類、歯面 研磨剤、操作法、注意事項、注意を要する症 例	講義	田頭 眞武
39	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (8)	歯面清掃器 エアポリッシャー サブソニックブラシシステム	実習	田頭
40	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (9)	フッ化物の応用 フッ化物局所応用による う蝕予防法、フッ化物歯面塗布	講義	眞武
41	歯科衛生介入としての歯科予防 処置 (10)	フッ化物歯面塗布法 (相互実習) ①： 綿球塗布法、歯ブラシゲル法	実習	眞武

42	歯科衛生介入としての歯科予防処置（11）	フッ化物歯面塗布法（相互実習）②： 綿球塗布法、歯ブラシゲル法	実習	眞武			
43	歯科衛生介入としての歯科予防処置（12）	フッ化物歯面塗布法（相互実習）③： 綿球塗布法、歯ブラシゲル法	実習	眞武			
44	歯面研磨	歯面研磨（ポリッシング）目的、種類、歯面研磨剤、操作法、注意事項、注意を要する症例	講義	田頭 眞武			
45	歯科衛生介入としての歯科予防処置（13）	フッ化物歯面塗布法（相互実習）④： 綿球塗布法、歯ブラシゲル法	実習	眞武			
46	歯科衛生介入としての歯科予防処置（14）	超音波スケーラー、エア（音波）スケーラー	講義	眞武			
47	歯科衛生介入としての歯科予防処置（15）	超音波スケーラー、歯面研磨（相互実習）①	実習	田頭			
48	歯科衛生介入としての歯科予防処置（16）	超音波スケーラー、歯面研磨（相互実習）②	実習	田頭			
49	歯科衛生介入としての歯科予防処置（17）	超音波スケーラー、歯面研磨（相互実習）③	実習	田頭			
50	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理（15）	歯周ポケット 歯周プローブの使用目的、基本操作、動揺度、ファークーションプローブ	講義	前田			
51	歯科衛生介入としての歯科予防処置（18）	超音波スケーラー、歯面研磨（相互実習）④	実習	田頭			
52	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理（16） 歯周組織の観察・記録（1）	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度 相互①	実習	前田			
53	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理（17） 歯周組織の観察・記録（1）	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度 相互②	実習	前田			
54	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理（18） 歯周組織の観察・記録（1）	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度 相互③	実習	前田			
55	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理（19） 歯周組織の観察・記録（1）	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度 相互④	実習	前田			
56	歯科衛生介入としての歯科予防処置（19）	スケーリング、SRP（相互実習）①	実習	前田			
57	歯科衛生介入としての歯科予防処置（20）	フッ化物洗口	講義	眞武			
58	歯科衛生介入としての歯科予防処置（21）	スケーリング、SRP（相互実習）②	実習	前田			
59	歯科衛生介入としての歯科予防処置（22）	スケーリング、SRP（相互実習）③	実習	前田			
60	歯科衛生介入としての歯科予防処置（23）	スケーリング、SRP（相互実習）④	実習	前田			
評価方法							
評価指標	定期試験	実技試験	-	-	-	-	合計
評価割合（%）	70	30	-	-	-	-	100
教科書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版 ￥8,300+税						
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 -口腔保健統計を含む- 第4版 学建書院						

	¥3,000+税 申 基 結 他 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 第1版 医歯薬出版 ¥3,500+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。
担当教員の実務 経験	歯科クリニックに4年以上従事し、歯科予防処置に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科予防処置論Ⅱ					歯科衛生科				
学年	2 年	学期	通年	分野	専門	時間数	90 時間	単位数	3 単位	
科目 責任者	前田 豊美				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香、山本 拓史、市原 隆洋				
科目 概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。									
到達 目標	1. フッ化物応用によるう蝕予防が説明でき、それを実践できる。 2. ラバーダム防湿法と小窩裂溝填塞法の概要が説明でき、それに必要な器材の準備や術式を理解し実践する能力を身につける。 3. う蝕活動性試験について説明できる。 4. PMTC の意義が説明でき、それに必要な器材の準備や術式を理解し、それを実践する能力を身につける。 5. 小窩裂溝填塞法の意義が説明でき、それに必要な器材の準備や術式を理解し、それを実践する能力を身につける。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	歯科診療における基礎知識 (1)			ラバーダム防湿				講義	田頭	
2	歯科診療における基礎知識 (2)			ラバーダム防湿操作法 (マネキン実習) : 1 歯露出、多数歯露出 (351 実験室)				実習	田頭	
3	歯科診療における基礎知識 (3)			ラバーダム防湿操作法 (相互実習) ① : 多数歯露出 (313 歯科実習室)				実習	田頭	
4	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (1)			分析のためのデータ 歯周病に関連する検査、 う蝕に関する検査 1) ～ 3)				講義	前田	
5	歯科診療における基礎知識 (4)			ラバーダム防湿操作法 (相互実習) ② : 多数歯露出 (313 歯科実習室)				実習	田頭	
6	歯科診療における基礎知識 (5)			ラバーダム防湿操作法 (相互実習) ③ : 多数歯露出 (313 歯科実習室)				実習	田頭	
7	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (2)			う蝕活動性試験 実習①				実習	前田	
8	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (3)			う蝕活動性試験 実習②				実習	前田	
9	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (1)			小窩裂溝填塞法 (フィッシャーシーラント)				講義	田頭	
10	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (4)			う蝕活動性試験 実習③				実習	前田	
11	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (2)			小窩裂溝填塞法操作法 (マネキン実習) ① : ラバーダム防湿、小窩裂溝填塞法				実習	田頭 眞武	
12	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (5)			う蝕活動性試験 実習④				実習	前田	
13	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (6)			口臭				講義	田頭	
14	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (3)			小窩裂溝填塞法操作法 (マネキン実習) ② : ラバーダム防湿、小窩裂溝填塞法				実習	田頭 眞武	
15	摂食嚥下リハビリテーション と口腔衛生管理 (1)			口腔衛生管理の実際 (評価、姿勢調整、口腔衛 生管理の方法、リスク管理)				講義	前田	
16	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (7)			口腔の器質的問題の把握 2. 検査項目 9) 口臭 ヨシダ：口臭測定器プレストロンⅡ実習				講義	田頭 眞武	
17	歯科衛生介入としての歯科予			小窩裂溝填塞法操作法 (マネキン実習) ③：				実習	田頭	

	防処置 (4)	ラバーダム防湿、小窩裂溝填塞法		眞武
18	摂食嚥下リハビリテーション と口腔衛生管理 (2)	摂食嚥下障害患者に対する口腔衛生管理① (相互実習) : 舌ブラシ、スポンジブラシ、口腔ケアシート、アイスマッサージ	実習	前田
19	リハビリテーション	歩行介助、車いす操作	実習	山本
20	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (8)	口腔の機能的問題の把握	講義	貴島
21	摂食嚥下リハビリテーション と口腔衛生管理 (3)	摂食嚥下障害患者に対する口腔衛生管理② (相互実習) : 舌ブラシ、スポンジブラシ、口腔ケアシート、アイスマッサージ	実習	前田
22	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理 (9)	デジタルエックス線撮影装置の撮影方法 パノラマエックス線撮影装置の撮影方法	実習	市原
23	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (5)	漂白	講義	貴島
24	摂食嚥下リハビリテーション と口腔衛生管理 (4)	摂食嚥下リハビリテーション : 大塚製薬	講義	前田
25	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (6)	熱中症 : 大塚製薬	講義	前田
26	歯科診療における基礎知識 (6)	ラバーダム防湿 実技試験	実習	田頭
27	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (7)	義歯の取扱い、歯科用切削具の取扱い	講義	田頭 前田
28	摂食嚥下リハビリテーション と口腔衛生管理 (5)	口腔健康管理 : クロスケアデンタル	講義・実習	前田
29	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (8)	口腔健康管理 : ウェルテック	講義・実習	前田
30	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (9)	口腔の器質的問題の把握 (歯、歯肉、舌、口腔粘膜、歯面の付着物・沈着物)	講義	前田他
1	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (10)	PTC, PMTC の定義、操作手順 (エバチップ) 歯面研磨剤、臨床における注意事項、施術中事故等	講義	貴島・田 頭・眞武
2	PMTC (1)	相互① エバチップ	実習	貴島・田 頭・眞武
3	PMTC (2)	相互② エバチップ	実習	貴島・田 頭・眞武
4	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (11)	シャープニング	講義	前田
5	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (12)	シャープニング ヒューフレディ社	実習	前田
6	歯科衛生介入としての歯科予 防処置 (13)	シャープニング ヒューフレディ社	実習	前田
7	PMTC (3)	相互③ エバチップ	実習	貴島・田 頭・眞武
8	PMTC (4)	相互①-1 全顎	実習	貴島・田 頭・眞武
9	PMTC (5)	相互①-2 全顎	実習	貴島・田 頭・眞武
10	PMTC (6)	相互②-1 全顎	実習	貴島・田 頭・眞武

11	PMTC (7)	相互②-2 全額	実習	貴島・田頭・眞武			
12	PMTC (8)	相互③-1 全額	実習	貴島・田頭・眞武			
13	PMTC (7)	相互③-2 全額	実習	貴島・田頭・眞武			
14	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (14)	歯科審美学 日本歯科審美学会	講義	前田			
15	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (15)	集団指導発表会リハーサル	実習	前田			
評価方法							
評価指標	定期試験	実技試験	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	50	50	-	-	-	-	100
教科書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第1版 医歯薬出版 ¥8,200+税						
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 -口腔保健統計を含む- 第4版 学建書院 ¥3,000+税 合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ¥6,000+税						
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。						
履修上の注意	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。						

科目名	歯科予防処置論Ⅲ					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	瀬戸 美夏			科目 担当者	瀬戸 美夏				
科目 概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。								
到達 目標	1. 歯周病と全身疾患の関連を説明できる。 2. 歯周病と生活習慣の関連を説明できる。 3. う蝕と全身疾患の関連を説明できる。 4. う蝕と生活習慣の関連を説明できる。 5. 歯科衛生士国家試験の過去問題が理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	1 章 臨床検査と歯科衛生士の役割		臨床検査の必要性、目的、種類、検査結果の評価・解釈、注意点				講義	瀬戸	
2	2 章 生理機能検査		バイタルサインの検査、心機能検査、肺機能検査、閉塞性睡眠時無呼吸の検査				講義	瀬戸	
3	3 章 血液学的検査		血液学的検査の基本、赤血球の基本、白血球の基本、出血・凝固系検査				講義	瀬戸	
4	4 章 感染症の検査		微生物学的検査、血液学的検査、主な感染症の検査				講義	瀬戸	
5	5 章 肝機能の検査 6 章 腎機能の検査		肝臓の構造と機能、肝機能の検査、関連疾患 腎臓の構造と機能、腎臓の検査、関連疾患				講義	瀬戸	
6	7 章 糖尿病の検査 8 章 代謝・内分泌疾患の検査		糖代謝のメカニズム、糖尿病の検査、糖尿病とは 金属の検査、ビタミンの検査、ホルモンの検査				講義	瀬戸	
7	9 章 免疫・血清学的検査 10 章 病理学的検査		免疫・血清学的検査とは、アレルギー検査、アレルギー関連疾患、自己免疫疾患、輸血、悪性腫瘍 病理学的検査とは、細胞診、組織診、病理解剖				講義	瀬戸	
8	11 章 画像検査 12 章 口腔領域の臨床検査		内視鏡検査、唾液分泌速度の検査、味覚の検査、口腔カンジダ症の検査				講義	瀬戸	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	-	50	50	-	-	-	-	100	
教科書	野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第1版 医歯薬出版 ￥3,000+税								
教材・参考図書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第1版 医歯薬出版 ￥8,200+税 合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。								

科目名	栄養指導					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	前期	分野	専門	時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	貴島 聡子				科目 担当者	貴島 聡子			
科目 概要	人びとの健康を維持・増進するために重要な栄養・食生活を理解するために、栄養と食生活に関する基本的知識を修得する。								
到達 目標	1. 栄養の基礎知識、食事摂取基準、栄養素の働きについて理解する。 2. 食品の分類ができる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	栄養の概念			栄養の概念、栄養素とは、栄養と食生活の意義				講義	貴島
2	栄養素の種類と働き（1）			糖質、脂質				講義	貴島
3	栄養素の種類と働き（2）			タンパク質、ビタミン				講義	貴島
4	栄養素の種類と働き（3）			ミネラル、食物繊維、水				講義	貴島
5	栄養素の消化・吸収			消化の種類、吸収のメカニズム、栄養素別の消化・吸収				講義	貴島
6	健康と栄養			食事摂取基準、食生活指針、食育基本法				講義	貴島
7	食事と食品（1）			食事バランスガイド、食品群、食品の機能				講義	貴島
8	食事と食品（2）			食品の表示、食品の調理				講義	貴島
9	ライフステージと栄養（1）			妊産婦				講義	貴島
10	ライフステージ別の栄養と調理（1）			乳児期、幼児期				講義	貴島
11	ライフステージ別の栄養と調理（2）			学齢期、青年期				講義	貴島
12	ライフステージ別の栄養と調理（3）			成人期				講義	貴島
13	ライフステージ別の栄養と調理（4）			老年期（1）				講義	貴島
14	ライフステージ別の栄養と調理（5）			老年期（2）				講義	貴島
15	栄養ケア・マネジメント			栄養スクリーニング、栄養アセスメント				講義	貴島
評価方法									
評価指標		定期試験	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合（%）		100	-	-	-	-	-	-	100
教科書	服部 浩子 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 3 栄養学 第 1 版 医歯薬出版 ￥3,000+税								
教材・参考図書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 1 版 医歯薬出版 ￥8,200+税								
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	歯科保健指導論Ⅰ					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	通年	分野	専門		時間数	60 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	眞武 郁				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. 歯科保健指導の概要が説明できる。 2. 口腔衛生管理に関わる指導を実施するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。 3. 各ライフステージや配慮を要する者に対応した歯科保健指導や食生活指導が理解できる。 4. 口腔衛生状態や口腔機能の評価について理解できる。									
回数	単元項目			授業内容					形態	担当教員
1	歯科保健指導の概要			歯科保健指導の必要性、定義、法的位置づけ、 健康の概念（口腔健康管理とは）					講義	眞武
2	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（1）			口腔衛生に関わる指導（手用歯ブラシ、電動歯ブラシ、 歯磨剤）					講義	眞武
3	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（2）			ブラッシングの方法（毛先を用いる方法）					講義	眞武
4	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（3）			ブラッシングの方法（毛の脇腹を用いる方法）					講義	眞武
5	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（4）			その他の清掃方法（フロス、歯間ブラシ、タフトブラシ、粘膜ブ ラシ、スポンジブラシ、舌ブラシ、義歯用ブラシ、口腔ケア用品）					講義	眞武
6	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（5）			ライオン：予防歯科セミナー					実習	眞武
7	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（6）			ライオン：予防歯科セミナー					実習	眞武
8	地域歯科保健活動における 健康教育			健康教育の概要、進め方、方法、評価					講義	眞武
9	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（7）			モリタ：音波式電動歯ブラシ（ソニッケア）実習					実習	眞武
10	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（8）			洗口液・洗口剤、保湿剤					講義	眞武
11	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（1）			妊産婦					講義	貴島
12	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（9）			大塚製薬：熱中症					講義	眞武
13	保健行動支援のための基礎 知識（1）			行動変容に関する理論					講義	眞武
14	保健行動支援のための基礎 知識（2）			行動変容を促す理論の実践					講義	眞武
15	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（2）			乳児期（新生児期）					講義	田頭
16	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（3）			幼児期					講義	田頭
17	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（4）			学齢期					講義	眞武
18	食生活指導のための基礎知 識（1）			食生活①					講義	谷口

19	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（5）	青年期		講義	眞武		
20	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（6）	成人期		講義	田頭		
21	ライフステージに対応した 歯科衛生介入（7）	老年期		講義	貴島		
22	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（1）	喫煙者に対する指導（1）		講義	眞武		
23	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（2）	口腔機能低下症・口腔機能発達不全症 口腔機能管理に関わる指導　口唇閉鎖力、舌圧 口輪筋トレーニング器具、抵抗訓練器具		講義	貴島		
24	配慮を要する者への歯科衛 生介入（1）	障害児者		講義	前田		
25	配慮を要する者への歯科衛 生介入（2）	生活習慣指導		講義	田頭		
26	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（3）	喫煙者に対する指導（2）		講義	前田		
27	配慮を要する者への歯科衛 生介入（3）	要介護高齢者		講義	前田		
28	歯科衛生介入としての歯科 保健指導（4）	喫煙者に対する指導（3）ストレスマネジメント		講義	前田		
29	食生活指導のための基礎知 識（2）	食生活②		講義	谷口		
30	配慮を要する者への歯科衛 生介入（4）	大規模災害被災者		講義	田頭		
評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計
評価割合(%)	60	30	10	-	-	-	100
教科書	高阪 利美 他　歯科衛生学シリーズ　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　¥8,300+税						
教材・参考図書	荒川 浩久 他　歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　-口腔保健統計を含む-　第4版　学建書院 ¥3,000+税 可児 徳子 他　歯科衛生学シリーズ　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1　保健 生態学　医歯薬出版　¥5,800+税						
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。						
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。						

科目名	歯科保健指導論Ⅱ					歯科衛生科				
学年	2 年	学期	通年	分野	専門	時間数	60 時間	単位数	2 単位	
科目責任者	眞武 郁				科目担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香				
科目概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。									
到達目標	1. 個人に対する患者指導用の媒体作製ができ、それを使用した歯科保健指導が実践できる。 2. 媒体を使用したライフステージ別の歯科保健指導が実践できる。 3. グループワークにおいて自分の考えを適切に表出でき、かつ協調性を持ち円滑に進めることができる。 4. 地域歯科保健活動の概要が理解でき、対象に合った指導用媒体の作成ができる。 5. グループワークにおいて、自分の考えを適切に表出でき、かつ協調性を持ちグループワークを円滑に進めることができる。 6. 健康教育の計画立案ができ、健康教育の内容を説明できる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (1)			フッ化物の応用 フッ化物局所応用によるう蝕予防法、フッ化物歯面塗布				講義	眞武	
2	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (2)			フッ化物歯面塗布法 (相互実習) ① : 綿球塗布法、歯ブラシゲル法				実習	眞武	
3	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (3)			フッ化物歯面配合歯磨剤				講義	前田	
4	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (4)			フッ化物歯面塗布法 (相互実習) ② : 綿球塗布法、歯ブラシゲル法				実習	眞武	
5	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (5)			フッ化物歯面塗布法 (相互実習) ③ : 綿球塗布法、歯ブラシゲル法				実習	眞武	
6	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (6)			フッ化物の毒性・中毒				講義	眞武	
7	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (7)			ライフステージ別フッ化物の応用				講義	眞武	
8	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (8)			サンスター：フッ化物の応用				講義・実習	眞武	
9	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (9)			サンスター：フッ化物の応用				講義・実習	眞武	
10	ライフステージに対応した歯科衛生介入 (1)			妊産婦期、乳幼児期、学齢期、青年・成人期、老年期 ライフステージ別スライド作製				講義・演習	田頭 前田	
11	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (10)			フッ化物洗口				講義・実習	眞武	
12	ライフステージに対応した歯科衛生介入 (2)			ライフステージ別スライド発表会①				演習	田頭 前田	
13	ライフステージに対応した歯科衛生介入 (3)			ライフステージ別スライド発表会②				演習	田頭 前田	
14	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (11)			サンデンタル：口腔内スキャナ				講義・実習	前田	
15	歯科衛生介入としての歯科予防処置 (12)			Heleon ジャパン：デンチャーケア				講義・実習	前田	

16	歯科衛生過程の進め方（1）	歯科衛生過程	講義	貴島		
17	歯科衛生過程の進め方（2）	歯科衛生過程：症例検討	演習	貴島		
18	歯科衛生過程の進め方（3）	歯科衛生過程：発表会	演習	貴島		
19	地域歯科保健活動（1）	保育所、幼稚園、学校	講義	眞武		
20	地域歯科保健活動（2）	事業所、保健所	講義	田頭		
21	地域歯科保健活動（3）	学習指導案とは：年中・年長	講義	眞武		
22	地域歯科保健活動（4）	学習指導案作成①	演習	眞武		
23	地域歯科保健活動（5）	学習指導案作成②	演習	眞武		
24	地域歯科保健活動（6）	集団指導 媒体（教材）作製①	演習	眞武		
25	地域歯科保健活動（7）	集団指導 媒体（教材）作製②	演習	眞武		
26	地域歯科保健活動（8）	集団指導 媒体（教材）作製③	演習	眞武		
27	地域歯科保健活動（9）	集団指導 媒体（教材）作製④	演習	眞武		
28	地域歯科保健活動（10）	集団指導 媒体（教材）作製⑤	演習	眞武		
29	地域歯科保健活動（11）	集団指導発表会 準備	演習	眞武		
30	地域歯科保健活動（10）	集団指導発表会	演習	眞武		
評価方法						
評価指標	定期試験	レポート（発表）	－	－	－	合計
評価割合（％）	50	50	－	－	－	100
教科書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第1版 医歯薬出版 ¥8,200+税					
教材・参考図書	可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第1版 医歯薬出版 ¥5,800+税					
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。					
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。					
担当教員の実務 経験	歯科クリニックに4年以上従事し、歯科保健指導に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。					

科目名	歯科保健指導論Ⅲ					歯科衛生科				
学年	3 年	学期	後期	分野	専門	時間数	15 時間	単 位 数	1 単位	
科目 責任者	貴島 聡子				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美 楠 亜樹、二宮静香				
科目 概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. 嚥下調整食について理解できる。 2. 周術期の歯科治療時の役割を説明できる。 3. インプラント治療の流れを説明できる。 4. 口腔機能の種類と評価方法を説明できる。									
回数	単元項目			授業内容			形態		担当教員	
1	周術期における 歯科診療の補助（１）			周術期等口腔機能管理の概要、病態の把握、治療時の対応			講義 P286-291 P319-321 口外 P302-326		田頭	
2	配慮を要する者への指導			緩和ケア、ターミナルケア			講義 P319-321		楠	
3	インプラント治療			特徴、流れ、印象採得、器材、メンテナンス、清掃用具の選択と使い方			講義 補 P182-214 診 P149-152		田頭	
4	周術期における 歯科診療の補助（２）			チーム医療における歯科衛生士の関わり			講義		楠	
5	歯科訪問診療における対応 全身疾患の病態			歯科訪問診療補助の概要、流れ、準備器材 脳血管疾患・神経筋変性疾患 口腔ケア			講義 P292-305, P333-343		二宮	
6	口腔機能管理（１）			口腔機能検査実習			講義		眞武	
7	口腔機能管理（２）			口腔機能検査実習			実習		的場	
8	食品の物性と摂食嚥下機能			ユニバーサルデザインフード、嚥下調整食 分類 2021、とろみの強さの目安、食形態を 考える			講義 摂 P93-107 P368-371 栄 P94-104		前田 的場	
評価方法										
評価指標		定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)		-	-	100	-	-	-	-	100	
教科書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 1 版 医歯薬出版 ¥8,200+税 石井拓男 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 1 版 医歯薬出版 ¥6,000+税 赤坂安正 他 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第 1 版 医歯薬出版 ¥3,400+税									
教材・参考図書	可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 1 版 医歯薬出版 ¥5,800+税 植田 耕一郎 他 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第 2 版 医歯薬出版 ¥3,800+税									
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。									

履修上の
注意点

講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。
事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科材料					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	田代 剛				科目 担当者	田代 剛			
科目 概要	歯科材料を扱う場合は、安全性や特性、成分、取扱いなどを十分に熟知しておく必要がある。本講義では歯科材料を分類し、それぞれの特性および使用用途について講義する。								
到達 目標	1. 歯科を安全性、特性、成分、取扱いについて説明できる。 2. 歯科材料の適切な保管方法について説明できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	歯科材料の基礎知識(1)			歯科材料の所要性質				講義	田代
2	歯科材料の基礎知識(2)			単位系、機械的・物理的				講義	田代
3	歯科材料の基礎知識(3)			化学的・生物的性質				講義	田代
4	歯科衛生にかかわる材料			歯面研磨剤、小窩裂溝填塞材、主な口腔清掃用具				講義	田代
5	印象剤			印象剤の種類と用途、組成と特徴、一般的性質				講義	田代
6	模型用材料			石膏の種類と用途、一般的性質				講義	田代
7	合着剤・接着材			合着剤、接着剤の種類と用途、一般的性質				講義	田代
8	成型修復剤			成型修復剤の種類と用途、成型修復剤の特徴				講義	田代
9	仮封材			仮封材の種類と用途				講義	田代
10	暫間修復剤と仮着用セメント			暫間修復剤の用途、種類、仮着セメントの種類と性質				講義	田代
11	ワックス			ワックスの種類と用途				講義	田代
12	金属			金属と合金、金属の用途、金属の種類				講義	田代
13	セラミック			セラミックスの用途、歯冠修復用セラミックスの分類、種類				講義	田代
14	その他の歯科材料(1)			小児歯科にかかわる材料				講義	田代
15	その他の歯科材料(2)			歯科矯正にかかわる材料、歯科補綴にかかわる材料				講義	田代
評価方法									
評価指標		定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計	
評価割合(%)		80	10	10	-	-	-	100	
教科書	末瀬 一彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版 ￥3,500＋税								
教材・参考図書		適宜紹介する							
オフィスアワー		授業前後							
履修上の 注意点		各授業後には指示したレポート作成や復習を必ず行うこと。また、授業の8回目終了後に中間試験、15回目の終了後に期末試験を実施する。							

科目名	歯科機器					歯科衛生科			
学年	2 年	学期	前期	分野	専門	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	葉山 揚介				科目 担当者	葉山 揚介			
科目 概要	患者に安心,安全な治療を遂行するために、歯科機器の名称、形態などを把握し、それぞれの機器の用途を正しく理解する。さらに医療事故を未然に防ぐために取り扱いの諸注意を理解する。								
到達 目標	1. 予防処置などの診療行為において歯科機器の正しい使用法を理解する。 2. 歯科診療補助において歯科医師との連携を図るために機器の特徴や構造を理解する。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	歯科診療における機器の概説 一般診療用機器				歯科機器の管理と整理 ユニット周辺の大型機器, マイクロスコープ			講義	葉山
2	歯科衛生にかかわる機器				口腔清掃用機器, 口腔洗浄器, 歯面清掃器			講義	葉山
3	検査・診断・治療用機器(1)				全身管理用機器, 測定値の見方 麻酔用機器, 救急救命機器			講義	葉山
4	検査・診断・治療用機器(2)				歯および口腔検査用機器, 口腔機能検査用機器			講義	葉山
5	検査・診断・治療用機器(3)				切削用機器, 成形修復用機器, 歯内療法用機器			講義	葉山
6	検査・診断・治療用機器(4)				歯周治療用機器, 口腔外科用機器			講義	葉山
7	検査・診断・治療用機器(5)				矯正歯科用機器, 小児歯科用機器			講義	葉山
8	検査・診断・治療用機器(6)				インプラント治療に関連する機器, 歯科訪問用 機器, 歯科技工用機器			講義	葉山
評価方法									
評価指標	定期試験	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	末瀬 一彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 第1版 医歯薬出版 ￥3,200+税								
教材・参考図書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	摂食嚥下リハビリテーション					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	大森 史隆				科目 担当者	大森 史隆			
科目 概要	歯科衛生士と摂食・嚥下の関わりについて認識し、リハビリテーション及び摂食嚥下リハビリテーションの概念やメカニズムを正しく理解したうえで、歯科衛生士の実践についての考え方や訓練法の実際、連携に必要な関係職種の理解など、摂食嚥下リハビリテーションに関する基礎的知識を修得する。								
到達 目標	1. 摂食嚥下の一連の動作を理解する。 2. 摂食嚥下障害の概要と摂食嚥下訓練の基礎を学ぶ。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	摂食嚥下機能のメカニズム				摂食嚥下に関わる構造（解剖）と機能（生理）			講義	大森
2	発達期の摂食嚥下機能				口腔と咽頭領域の形態成長と機能発達の関連			講義	大森
3	咬合および咀嚼機能の管理と評価 オーラルフレイル				義歯と PAP, PLP 咀嚼・嚥下の評価と管理 オーラルフレイル, 口腔機能低下症			講義	大森
4	病態別摂食嚥下障害				発達期・成人期・老年期の摂食嚥下障害			講義	大森
5	リスクマネジメント				全身状態の把握と対応, 緊急時の対応, 気管切開, 吸引			講義	大森
6	摂食嚥下の評価				スクリーニング検査			講義	大森
7	摂食嚥下訓練(1)間接訓練				間接訓練の選択と実施			講義	大森
8	摂食嚥下訓練(2)直接訓練				直接訓練の選択と実施 摂食嚥下障害に対する食事指導			講義	大森
評価方法									
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	植田 耕一郎 他 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版 ￥3,800+税								
教材・参考図書	植田 耕一郎 他 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 第1版 医歯薬出版 ￥2,600+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い教科書の該当箇所を精読する。								

科目名	歯科診療補助論Ⅰ					歯科衛生科				
学年	1 年	学期	通年	分野	専門	時間数	60 時間	単位数	2 単位	
科目 責任者	田頭 美穂				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. 歯科診療補助の概念と、医療安全について理解する。 2. アルジネート印象材による印象採得法を理解する。 3. 歯科ユニットの構成について理解する。 4. 歯科診療室における患者対応と、診療時の共同動作について理解する。 5. 診療時の適切な感染対策と、共同動作が実践できる。 6. 歯科用セメントの種類や用途が理解でき、その操作法が実践できる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	歯科診療補助の概念			診療の補助とは、診療の補助の範囲の法的な変化				講義	田頭	
2	歯科診療で扱う歯科材料（1）			印象採得（基礎知識、概形印象採得）、ワックス（基礎知識、種類と用途）				講義	田頭	
3	歯科診療で扱う歯科材料（2）			アルジネート印象材練和				実習	田頭	
4	医療安全と感染予防（1）			感染予防① 手指衛生				講義・演習	田頭	
5	歯科診療で扱う歯科材料（3）			合着・接着の補助（ポリカルボキシレートセメント・グラスアイオノマーセメント・接着性レジン・リン酸亜鉛セメント）				講義	田頭	
6	歯科診療で扱う歯科材料（4）			セメント練和操作法①				実習	田頭 眞武	
7	医療安全と感染予防（2）			医療安全				講義	田頭	
8	医療安全と感染予防（3）			感染予防② 歯科医療における感染症の概念、感染予防対策				講義	田頭	
9	歯科診療で扱う歯科材料（5）			セメント練和操作法②				実習	田頭 前田	
10	歯科診療で扱う歯科材料（6）			YAMAKIN：MTA セメント取扱い				実習	田頭	
11	歯科診療で扱う歯科材料（7）			サンメディカル：接着性レジンセメント（MMA 系）				実習	田頭	
12	医療安全と感染予防（4）			感染予防③ 手指衛生、グローブ・滅菌グローブ				講義	田頭	
13	医療安全と感染予防（5）			感染予防③ 滅菌と消毒（消毒法、洗浄、器材の管理）				講義	田頭	
14	歯科診療で扱う歯科材料（8）			セメント練和 実技試験				実習	田頭	
15	医療安全と感染予防（6）			医療廃棄物の取扱い 医療安全と感染予防の実際（PPE 装着・着脱）				講義	田頭	
16	歯科診療における基礎知識（1）			共同動作				講義	前田	
17	歯科診療における基礎知識（2）			共同動作（相互実習）①				実習	前田	
18	歯科診療で扱う歯科材料（9）			模型の作製、咬合採得				講義	田頭	

19	歯科診療における基礎知識(3)	共同動作（相互実習）②					実習	前田
20	歯科診療における基礎知識(4)	共同動作（相互実習）③					実習	前田
21	歯科診療における基礎知識(4)	共同動作（相互実習）④					実習	前田
22	歯科診療で扱う歯科材料（10）	スタディモデル 上下顎印象採得①					実習	田頭
23	歯科診療で扱う歯科材料（11）	スタディモデル 上下顎印象採得②					実習	田頭
24	歯科診療で扱う歯科材料（12）	スタディモデル 上下顎印象採得③					実習	田頭
25	歯科診療で扱う歯科材料（13）	スタディモデル 上下顎印象採得④					実習	田頭
26	歯科診療で扱う歯科材料（14）	スタディモデル トリミング①					実習	田頭 眞武
27	歯科診療で扱う歯科材料（15）	スタディモデル トリミング②					実習	田頭 眞武
28	歯科診療で扱う歯科材料（16）	スタディモデル トリミング③					実習	田頭 眞武
29	歯科診療で扱う歯科材料（17）	スタディモデル 台付け					実習	田頭 眞武
30	歯科診療で扱う歯科材料（18）	綿栓作製					講義・実習	田頭
評価方法								
評価指標		定期試験	実技試験	-	-	-	-	合計
評価割合(%)		50	50	-	-	-	-	100
教科書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 ￥6,800+税							
教材・参考図書	末瀬 一彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版 ￥3,500+税							
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。							
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。							

科目名	歯科診療補助論Ⅱ					歯科衛生科				
学年	2 年	学期	通年	分野	専門	時間数	60 時間	単 位 数	3 単位	
科目 責任者	田頭 美穂				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。									
到達 目標	1. アルジネート印象材による印象採得と模型作製が実践できる。 2. 歯肉圧排の目的と、寒天-アルジネート印象材による精密印象採得について理解できる。 3. 仮封の目的、種類、使用法と取扱いが理解できる。 4. 歯科に必要な生体検査および口腔領域の検査が理解できる。 5. 口腔外科、保存修復、補綴治療時の診療補助について理解できる。 6. ラバーダム防湿が実践できる。 7. 口腔内写真撮影が実践できる。 8. 一次救命処置について理解できる。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	歯科診療で扱う歯科材料 (1) 歯科診療における基礎知識 (1)			寒天印象採得の補助 歯肉圧排				講義	田頭	
2	歯科診療で扱う歯科材料 (2) 歯科診療における基礎知識 (2)			寒天－アルジネート連合印象採得① 歯肉圧排				実習	田頭	
3	歯科診療で扱う歯科材料 (3)			模型の作製、咬合採得				講義	田頭	
4	歯科診療で扱う歯科材料 (4)			スタディモデル作製（相互実習）①				実習	田頭	
5	歯科診療で扱う歯科材料 (5) 歯科診療における基礎知識 (3)			寒天－アルジネート連合印象採得② 歯肉圧排				実習	田頭	
6	歯科診療で扱う歯科材料 (5)			スタディモデル作製（相互実習）②				実習	田頭	
7	歯科診療で扱う歯科材料 (6)			スタディモデル作製（相互実習）③				実習	田頭	
8	歯科診療で扱う歯科材料 (14)			スタディモデル トリミング①				実習	田頭 眞武	
9	歯科診療で扱う歯科材料 (15)			スタディモデル トリミング②				実習	田頭 眞武	
10	歯科診療で扱う歯科材料 (16)			スタディモデル トリミング③				実習	田頭 眞武	
11	歯科診療で扱う歯科材料 (17)			仮封・仮着の補助				講義	田頭	
12	歯科診療で扱う歯科材料 (18)			仮封・仮着の補助① レジン系仮封材、 ラックバーニッシュ				実習	田頭	
13	歯科診療で扱う歯科材料 (19)			仮封・仮着の補助② 水硬性、テンポラリー ストッピング				実習	前田	
14	歯科診療で扱う歯科材料 (20)			スタディモデル台付け				実習	田頭 眞武	
15	歯科診療における基礎知識 (4)			口腔内撮影法①				実習	眞武	
16	補綴治療時の診療補助			合成ゴム室印象採得の補助				講義	田頭	
17	口腔外科治療時の診療補助			抜歯鉗子（抜歯の手順）の準備、注射器の準備				実習	貴島他	
18	口腔外科治療時の診療補助			メスの準備、縫合の準備				実習	貴島他	

19	矯正治療時の診療補助	口腔内撮影法②				実習	眞武
20	矯正治療時の診療補助	口腔内撮影法③				実習	眞武
21	補綴治療時の診療補助	合成ゴム室印象採得の補助				実習	田頭
22	保存修復時の診療補助	隔壁法				実習	貴島
23	保存修復時の診療補助	成形歯冠修復				実習	田頭
24	歯科領域に必要な臨床検査	生体検査、口腔領域の検査				実習	田頭
25	歯科領域に必要な臨床検査	生体検査、口腔領域の検査				実習	田頭
26	補綴治療時の診療補助	YAMAKINN：プロビジョナルレストレーションに用いる器材準備と取扱い				実習	田頭
27	補綴治療時の診療補助	YAMAKINN：プロビジョナルレストレーションの製作				実習	田頭
28	救命救急処置	一次救命処置(BLS)のアルゴリズム 心肺蘇生、自動体外式除細動器 (AED)				実習	田頭
29	災害支援	防災体験①				実習	前田
30	災害支援	防災体験②				実習	前田
評価方法							
評価指標	定期試験	レポート	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	70	30	-	-	-	-	100
教科書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ¥6,000+税 栢 豪洋 他 歯科衛生士のための最新歯科用語辞典 第1版 クインテッセンス出版 ¥3,500+税						
教材・参考図書	岩田 隆紀 他 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック 第1版 クインテッセンス出版 ¥3,300+税						
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。						
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。						
担当教員の実務 経験	歯科クリニックに4年以上従事し、歯科診療補助に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。						

科目名	歯科診療補助論Ⅲ					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	瀬戸 美夏				科目 担当者	瀬戸 美夏			
科目 概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するための専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達 目標	1. 主な全身疾患の概要や口腔内の特徴、歯科診療上での注意点が説明できる。 2. 歯科麻酔の特徴が説明できる。 3. 歯科麻酔の手順が説明できる。 4. 歯科治療時に生じる全身的偶発症が説明できる。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	主な全身疾患とその対応 (1)				代謝・内分泌疾患、消化器疾患、循環器疾患、血液疾患の概要、口腔内の所見、歯科診療上の注意点			講義 P256-266	瀬戸
2	主な全身疾患とその対応 (2)				呼吸器疾患、胃・泌尿器疾患、免疫・膠原病の概要、口腔内の所見、歯科診療上の注意点			講義 P266-273	瀬戸
3	主な全身疾患とその対応 (3)				感染症、神経系疾患、精神疾患の概要、口腔内の所見、歯科診療上の注意点			講義 P273- 280, 285	瀬戸
4	主な全身疾患とその対応 (4)				がん、口腔がん、産科・婦人科疾患の概要、口腔内の所見、歯科診療上の注意点			講義 P280-284	瀬戸
5	歯科麻酔時の診療補助 (1)				歯科麻酔と患者管理			講義 口外 P232- 241	瀬戸
6	歯科麻酔時の診療補助 (2)				局所麻酔、精神鎮静法			講義 口外 P242- 273	瀬戸
7	歯科麻酔時の診療補助 (3)				全身麻酔			講義 口外 P274- 287	瀬戸
8	歯科麻酔時の診療補助 (4)				緊急時の対応			講義 口外 P288- 299	瀬戸
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	-	50	50	-	-	-	-	100	
教科書	合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税 野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第1版 医歯薬出版 ￥3,000+税								
教材・参考図書	植田 耕一郎 他 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 医歯薬出版 ￥3,800+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。								

科目名	臨地実習 I						歯科衛生科		
学年	2 年	学期	後期	分野	専門	時間数	360 時間	単位数	8 単位
科目 責任者	前田 豊美				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香			
科目 概要	歯科診療所での歯科衛生士の役割を理解し、常に向上心を持った態度と、良好なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける。医療人としての自覚と責任を持ち、歯科衛生士に求められる歯科保健活動が実践できる。								
到達 目標	1. 医療人としての身だしなみと態度を身につけ、実習先の規則、対象者の守秘義務を遵守できる。 2. 診療室での歯科衛生士の役割を理解し、共同動作、歯科衛生業務の流れを理解する。 3. スタンダードプレコーションが実践できる。 4. 医療廃棄物の取扱いが理解できる。								
	実習場所		授業内容					形態	担当教員
	歯科診療所		実 習 期 間：令和 7 年 9 月 17 日～令和 8 年 1 月 19 日 実 習 時 間：9:00～16:00（実習時間 6 時間） 実 習 先：大学病院、歯科診療所、介護施設 実 習 方 法：実習前にオリエンテーションを実施する。その後、学生 2～3 名を 1 組とし、学外実習を行う。 実習先が休診の場合は、学内にて自学学習を行う。 実 習 の 詳 細：歯科診療所での実習後に、臨床実習帳に記載する。 記載後は、速やかに実習先の指導者に見てもらい押印 してもらう。					実習	前田 的場 貴島 田頭 眞武 今村
評価方法									
評価指標	外部評価	レポート	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	50	50	-	-	-	-	-	100	
教科書	実習内容、実習先の対象者に応じて必要なもの。 岩田隆紀他 歯科衛生士・歯科助手おしごとハンドブック 第 1 版 クインテッセンス出版 ￥3,300+税 野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第 1 版 医歯薬出版 ￥3,000+税								
教材・参考図書	適宜								
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	・歯科診療所での実習となるため、自己の健康管理に努めること。 ・既習した全領域の学習が必要なため、自己にて学習を進めること。 ・自己での判断を勝手にせず、何事も実習生である自覚をもって報告・連絡・相談を行うこと。								

科目名	臨地実習Ⅱ					歯科衛生科				
学年	3 年	学期	前期	分野	専門	時間数	450 時間	単位数	10 単位	
科目 責任者	田頭 美穂				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香				
科目 概要	歯科衛生士として求められる基本的な資質と能力を常に意識しながら、多様な場、多様な人が対象となる実習に臨む。その中で知識・技術の統合を図り、チーム医療において必要な対人関係能力や倫理観を養うとともに、歯科衛生士としての自己の在り方を省察する能力を身につける。 臨地・臨床実習の学修は、実際に対象者に接しながら指導者の指導・監督の下に実施する。									
到達 目標	1. 思いやりを持ち、対象者に応じた患者対応ができる。 2. 既習の知識・技術を、実習指導者の指導の下に実践できる能力を身につける。 3. 健康教育の計画立案ができ、その内容を説明できる。 4. 地域歯科保健活動の工夫と留意点が説明できる。 5. 地域の集団に対して、媒体を用いた歯科保健指導を実践することができる。 6. 多職種連携における歯科衛生士の役割と、地域歯科保健活動が理解できる。									
	実習場所	授業内容						形態	担当教員	
	歯科診療所	実 習 期 間：令和7年4月4日～7月28日 実 習 時 間：9:00～16:00（実習時間6時間） 実 習 先：歯科診療所、病院、歯科口腔外科、幼稚園・保育所、 介護施設 実 習 方 法：・学生2～3名を1組とし、学外実習を行う。実習先が休 診の場合は、学内にて自学学習を行う。 ・幼稚園・保育園での臨地実習では、対象者の発達に応 じた歯科衛生計画を作成し、口腔清掃指導や口腔機能 発達訓練指導を行う。8～10名を1グループとする。 ・介護施設での臨地実習では、高齢者の身体的・心理的 特徴や QOL の維持・向上を目的とした口腔衛生管理や、 口腔機能の向上に必要な専門的知識と技術を修得す る。3名を1グループとする。 実 習 の 詳 細：・歯科診療所での実習後に、臨床実習帳に記載する。 記載後は、速やかに実習先の指導者に見てもらい 押印してもらう。 ・臨地実習終了後は、事後評価を行い臨地実習帳に 記録し押印をもらう。						実習	田頭 今村 貴島 眞武 前田 的場	
評価方法										
評価指標	外部評価	レポート	-	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	50	50	-	-	-	-	-	100		
教科書	実習内容、実習先の対象者に応じて必要なもの。 岩田隆紀他 歯科衛生士・歯科助手おしごとハンドブック 第1版 クインテッセンス出版 ￥3,300+税 野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第1版 医歯薬出版 ￥3,000+税									
教材・参考図書	適宜紹介する。									
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	・歯科診療所、保育、介護施設での実習となるため、自己の健康管理に努めること。 ・既習した全領域の学習が必要なため、自己にて学習を進めること。 ・自己での判断を勝手にせず、何事も実習生である自覚をもって報告・連絡・相談を行うこと。									

科目名	臨地実習Ⅱ					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	専門	時間数	90 時間	単位数	2 単位
科目 責任者	田頭 美穂				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香			
科目 概要	歯科衛生士として求められる基本的な資質と能力を常に意識しながら、多様な場、多様な人が対象となる実習に臨む。その中で知識・技術の統合を図り、チーム医療において必要な対人関係能力や倫理観を養うとともに、歯科衛生士としての自己の在り方を省察する能力を身につける。 臨地・臨床実習の学修は、実際に対象者に接しながら指導者の指導・監督の下に実施する。								
到達 目標	1. 対象者に応じた口腔健康管理指導ができる。 2. 既習の知識・技術を、歯科衛生過程を用いて実践できる能力を身につける。								
	実習場所	授業内容						形態	担当教員
	歯科診療所	実 習 期 間：令和 7 年 8 月 25 日～令和 7 年 10 月 17 日 実 習 時 間：9:00～16:00（実習時間 6 時間） 実 習 先：歯科診療所 実 習 方 法：学生 2～3 名を 1 組とし、学外実習を行う。 実習先が休診の場合は、学内にて自学学習を行う。 実 習 の 詳 細：歯科診療所での実習後に、臨床実習帳に記載する。 記載後は、速やかに実習先の指導者に見てもらい押印 してもらう。						実習	田頭 今村 貴島 田頭 眞武 前田 的場
評価方法									
評価指標	外部評価	レポート	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	50	50	-	-	-	-	-	100	
教科書	実習内容、実習先の対象者に応じて必要なもの。 岩田隆紀他 歯科衛生士・歯科助手おしごとハンドブック 第 1 版 クインテッセンス出版 ￥3,300+税 野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第 1 版 医歯薬出版 ￥3,000+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	・歯科診療所での実習となるため、自己の健康管理に努めること。 ・既習した全領域の学習が必要なため、自己にて学習を進めること。 ・自己での判断を勝手にせず、何事も実習生である自覚をもって報告・連絡・相談を行うこと。								

科目名	看護学概論					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	大宮 和香沙				科目 担当者	大宮 和香沙			
科目 概要	看護の基本的考え方（概念）と科学的知識・技術に基づく看護の基本援助技術、チーム連携等、看護の概要について学ぶ。さらに地域・在宅看護における看護について学ぶ。								
到達 目標	歯科衛生士が人々の健康を守るために必要な看護の基本的な考え方、および援助技術を理解する。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	看護の概念		看護の歴史, 看護の定義				講義	大宮	
2	看護技術 (1)		患者とのコミュニケーション, 患者との接し方,				講義	大宮	
3	看護技術 (2)		バイタルサイン バイタルサインの測定方法 安楽への援助, 患者の安全と安楽, 体位変換				講義	大宮	
4	看護技術 (3)		摂食への支援, 経腸栄養法, 静脈栄養法, 与薬, 薬法, 吸引および吸入				講義	大宮	
5	看護実務 (1) 救急時の看護		救急蘇生法, 神経性ショック, 過換気症候群				講義	大宮	
6	看護実務 (2) 洗浄・消毒・滅菌 感染対策		洗浄, 消毒, 滅菌法の種類と特徴 感染対策, 個人防護具の着脱				講義	大宮	
7	看護実務 (3) 医療安全		医療事故報告制度, インシデント, アクシデント, 転倒・転落防止, 針刺し事故防止, 片手リキャップ法				講義	大宮	
8	地域医療活動		地域社会における看護のあり方, 在宅医療, 地域包括ケアシステム, 在宅医療を支える職種, 訪問看護の内容				講義	大宮	
評価方法									
評価指標	定期試験	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	柴原 孝彦 他 歯科衛生士のための看護学大意 第 3 版 医歯薬出版 ¥2,500+税								
教材・参考図書	茂野 香おる 他 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第 18 版 医学書院 ¥2,700+税 任 和子 他 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第 18 版 医学書院 ¥2,900+税 河原 加代子 他 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版 医学書院 ¥2,000+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	リハビリテーション概論					歯科衛生科			
学年	1 年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	山本 拓史				科目 担当者	山本 拓史			
科目 概要	リハビリテーションとは何か、その歴史・理念を踏まえ、医療、福祉、保健との関係について包括的な理解を促す。また、チーム医療に関わる関連職種と歯科衛生士との連携についても触れるとともに、歯科診療において遭遇する機会の多い高齢者・障害者の支援・介助法の基本的な実技を修得する。 リハビリテーションの奥深さに触れ、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、疑義を楽しみ能動的学習の礎を築く。								
到達 目標	1. リハビリテーションの歴史・理念と関連する分野との関係を理解する。 2. 歯科衛生士と関わる職種と連携について理解する。 3. 障害に応じた支援・介助法を理解・実践できる。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	リハビリテーションの理念				リハビリテーションの歴史的背景・理念について			講義	山本
2	チーム医療と多職種連携				各種コメディカル領域の職種について			講義	山本
3	障害と評価				運動器・中枢疾患の障害像について			講義	山本
4	基本動作				寝返り・起坐・起立動作の理解			実技	山本
5	補装具の適応と使用方法				杖の適応と歩行介助、段差昇降の原則について			実技	山本
6	車椅子				各部名称と注意点、操作・介助方法について			実技	山本
7	移乗動作				移乗動作の介助法について			実技	山本
8	高齢者のリハビリテーション				高齢者の特性と廃用症候群、フレイルについて			講義	山本
評価方法									
評価指標		定期試験	小テスト	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)		50	50	-	-	-	-	100	
教科書	なし								
教材・参考図書		必要に応じて適宜プリントを配布する。							
オフィスアワー		各講義の前後を活用すること							
履修上の 注意点		講義では多くの事例・症例をとおして、問題提起・課題解決を試みるため、学生には能動的かつ積極的な参加を期待する。							

科目名	画像情報学概論					歯科衛生科				
学年	3 年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15 時間	単位数	1 単位	
科目 責任者	市原 隆洋				科目 担当者	市原 隆洋				
科目 概要	2 年次に履修した歯科放射線学の個々の詳細について学び、応用力を養う。また、国家試験で過去に出題された問題を中心に演習し、国家資格を有するのに必要な知識を身に付ける。									
到達 目標	1. 放射線の人体への影響と防護を理解する。 2. アナログおよびデジタル画像システムの画像形成と画像管理について理解する。 3. エックス線撮影の特徴および検査方法について理解する。 4. エックス線撮影以外の画像検査や放射線治療について原理や特徴を理解する。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	放射線の基礎知識 1			放射線とその性質				演習	市原	
2	エックス線画像の形成			アナログ・デジタル画像システム、画像管理				演習	市原	
3	エックス線撮影 1			口内法エックス線撮影				演習	市原	
4	エックス線撮影 2			パノラマエックス線撮影				演習	市原	
5	エックス線撮影 3			頭部エックス線規格写真				演習	市原	
6	エックス線撮影 4			CT、造影検査				演習	市原	
7	その他の検査等			MRI、超音波検査、放射線治療				演習	市原	
8	放射線防護			放射線の影響、防護の実際、被曝線量の測定				演習	市原	
評価方法										
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	飯久保 正弘 他 歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第 3 版 ¥2,600+税									
教材・参考図書	歯科衛生士国試対策研究会編 歯科衛生士国試対策集 第 1～34 回全重要問題解説集 2026 年対応 第 1 版 クインテッセンス出版 ¥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会編 徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 2025 年版（問題編・別冊付）第 1 版 医歯薬出版 ¥3,700+税									
オフィスアワー	平日 16：30 以降									
履修上の 注意点	単元ごとに過去の国家試験問題より抜粋した問題プリントを用いて授業を行います。 答えの暗記ではなく理解して問題が解けるよう、特に間違えた問題は必ず復習してください。									

科目名	デンタルアンチエイジング					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	貴島 聡子				科目 担当者	貴島 聡子、田頭 美穂、眞武 郁、前田 豊美、 的場 百子、今村 恵里香			
科目 概要	歯・口腔領域においては、生涯にわたって自分の歯を維持すること、すなわち歯の喪失防止がアンチエイジング対策の中心となっている。歯の漂白は、輝く笑顔を提供するばかりではなく、歯に対する関心を高め口腔衛生管理（ホームケア）のモチベーションを高めることにつながる。ホワイトニングの正しい知識を修得し実体験を通して、臨床技能を習得する。								
到達 目標	1. 歯の漂白法の種類と適応症を説明できる。 2. 歯の漂白時に準備する器材や薬剤を理解する。 3. 実践的な経験を通して知識をより深め、歯科衛生士の役割を習得する。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	デンタルアンチエイジング 歯科審美学				デンタルアンチエイジング 歯科審美学の定義 ホワイトニングの基礎知識			講義	貴島
2	医療ホワイトニング				オフィスブリーチ講義・手順説明 クラスⅢ;高度管理医療機器 (高濃度過酸化水素;劇薬)			実習	貴島
3	医療ホワイトニング実習Ⅰ				オフィスブリーチ3人1組 (1人目)			実習	貴島
4	医療ホワイトニング実習Ⅰ				オフィスブリーチ3人1組 (1人目)			実習	貴島
5	医療ホワイトニング実習Ⅱ				オフィスブリーチ3人1組 (2人目)			実習	貴島
6	医療ホワイトニング実習Ⅱ				オフィスブリーチ3人1組 (2人目)			実習	貴島
7	医療ホワイトニング実習Ⅲ				オフィスブリーチ3人1組 (3人目)			実習	貴島
8	医療ホワイトニング実習Ⅲ				オフィスブリーチ3人1組 (3人目)			実習	貴島
評価方法									
評価指標	レポート	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	プリント資料								
教材・参考図書	金子 潤 他 歯科衛生士ベーシックスタンダード ホワイトニング 医歯薬出版 ￥3,200+税 日本歯科審美学会監修 コーディネーターのためのホワイトニングマニュアル 財団法人口腔保健協会 ￥2,700+税 須崎 明 ホワイトニングを知りたい歯科医院が読む本 歯科医師・歯科衛生士の疑問にズバッ!と 答えます 医歯薬出版株式会社 ￥6,600+税 須崎 明 チームで成功させるホワイトニング デンタルダイヤモンド社 ￥9,500+税 宮崎真至他 ホワイトニング NEW GENERATION 医歯薬出版 ￥8,000+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、教科書の該当箇所を精読する。								
担当教員の実務 経験	歯科クリニックに4年以上従事し、歯科審美学に関する確かな知識と技能を有する歯科医師を講師とし実践的教育を行う。								

科目名	歯科衛生学テーマ別講義(1)					歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	90 時間	単位数	3 単位
科目 責任者	貴島 聡子				科目 担当者	各科目担当教員			
科目 概要	既習した科目・分野の復習を行い自身の理解できていない内容を把握することにより、国家試験対策に活用する。また、既習した専門的知識や技術を集約し、歯科衛生士の役割や歯科衛生業務に対する理解を深める。								
到達 目標	1. 人体の構造やそれを構成する器官の構造と機能、組織・発生に関する基本的知識を修得する。 2. 歯・口腔の構造およびその機能に関する基本的知識を修得する。 3. 口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を修得する。 4. 口腔領域に発生する疾病の概念、病因と病態に関する基本的知識を修得する。 5. 微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する基本的知識を修得する。 6. 疾病の回復を促進する薬に関する基本的知識を修得する。 7. 歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を修得する。								
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員
1	人体の構造と機能 (1)				人体の構造			講義	長門
2	人体の構造と機能 (2)				人体の機能・構成成分			講義	長門
3	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の構造			講義	長門
4	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成①			講義	長門
5	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成②			講義	長門
6	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成③			講義	長門
7	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成④			講義	加藤
8	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成⑤			講義	加藤
9	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成⑥			講義	田淵
10	歯・口腔の構造と機能				歯・口腔の機能・組成⑦			講義	田淵
11	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (1)				病因と病態①			講義	谷口
12	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (2)				病因と病態②			講義	谷口
13	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (3)				病因と病態③			講義	谷口
14	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (4)				感染と免疫①			講義	中山
15	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (5)				感染と免疫②			講義	中山
評価方法									
評価指標	卒業試験	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 第 1 版 医歯薬出版 ￥4,600+税								
	前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第 1 版 医歯薬出版 ￥4,800+税								
	高橋 信博 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 2 栄養と代謝 第 1 版 医歯薬出版 ￥3,500+税								
	服部 浩子 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 3 栄養学 第 1 版 医歯薬出版 ￥3,000+税								

	仙波 伊知郎 他 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 第 1 版 医歯薬出版 ¥3,800+税 鈴木 邦明 他 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 医歯薬出版 ¥3,200+税 木村 重信 他 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第 1 版 医歯薬出版 ¥3,000+税 荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学 -口腔保健統計を含む- 第 4 版 学建書院 ¥3,000+税 可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 1 版 医歯薬出版 ¥5,800+税 歯科衛生士国試対策研究会 歯科衛生士 国試対策集 2026 年対応 第 1 版 クインテッセンス出版 ¥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会 徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 2024 年版 第 1 版 医歯薬出版 ¥3,700+税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科衛生学テーマ別講義(2)						歯科衛生科			
学年	3 年	学期	後期	分野	選択必修		時間数	90 時間	単位数	3 単位
科目 責任者	田頭 美穂				科目 担当者	各科目担当教員				
科目 概要	既習した科目・分野の復習を行い自身の理解できていない内容を把握することにより、国家試験対策に活用する。また、既習した専門的知識や技術を集約し、歯科衛生士の役割や歯科衛生業務に対する理解を深める。									
到達 目標	1. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みに関する基本的知識を修得する。 2. 地域社会における保健対策の基本を学び、対象者の疾病の予防能力を高めるために、地域の役割に関する基本的知識を修得する。 3. 歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識や、歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するための保健情報を把握し、衛生統計の手法を修得する。 4. 歯科衛生業務を実践するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を修得する態度および倫理的思考法の基礎を修得する。									
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員	
1	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (6)			生体と薬物①				講義	加藤	
2	疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (7)			生体と薬物②				講義	加藤	
3	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み (1)			総論				講義	本川	
4	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み (2)			口腔清掃				講義	本川	
5	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み (3)			う蝕の予防				講義	本川	
6	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み (4)			指数、地域歯科保健活動				講義	本川	
7	臨床歯科医学 (1)			保存修復学①				講義	田代	
8	臨床歯科医学 (2)			保存修復学②				講義	田代	
9	臨床歯科医学 (3)			歯内療法学①				講義	辻本	
10	臨床歯科医学 (4)			歯内療法学②				講義	辻本	
11	臨床歯科医学 (5)			歯周病学①				講義	金子	
12	臨床歯科医学 (6)			歯周病学②				講義	金子	
13	臨床歯科医学 (7)			口腔外科・歯科麻酔学①				講義	大関	
14	臨床歯科医学 (8)			口腔外科・歯科麻酔学②				講義	大関	
15	臨床歯科医学 (9)			口腔外科・歯科麻酔学③				講義	大関	
評価方法										
評価指標		卒業試験	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)		100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第1版 医歯薬出版 ￥5,800+税 平田 創一郎 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度 医歯薬出版 ￥2,800+税									

	眞木 吉信 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3 保健情報統計学第1版 医歯薬出版 ¥2,800+税 遠藤 恵子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論 第1版 医歯薬出版 ¥2,700+税 千田 彰 他 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 第1版 医歯薬出版 ¥4,300+税 申 基結 他 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 第1版 医歯薬出版 ¥3,500+税 赤川 安正 他 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第1版 医歯薬出版 ¥3,400+税 山根 源之 他 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第1版 医歯薬出版 ¥3,400+税 氷室 利彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第1版 医歯薬出版 ¥3,600+税 大嶋 隆 他 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 第1版 医歯薬出版 ¥3,400+税 森戸 光彦 他 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版 永末書店 ¥3,500+税 柿木 保明 他 歯科衛生士講座 障害者歯科学 第3版 永末書店 ¥3,000+税 歯科衛生士国試対策研究会 歯科衛生士 国試対策集 2026 年対応 第1版 クインテッセンス出版 ¥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会 徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 2024 年版 第1版 医歯薬出版 ¥3,700+税
教材・参考図書	野村 武史 他 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 第1版 医歯薬出版 ¥3,000+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科衛生学テーマ別講義 (3)						歯科衛生科		
学年	3 年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	90 時間	単位数	3 単位
科目 責任者	眞武 郁				科目 担当者	各科目担当教員			
科目 概要	既習した科目・分野の復習を行い自身の理解できていない内容を把握することにより、国家試験対策に活用する。また、既習した専門的知識や技術を集約し、歯科衛生士の役割や歯科衛生業務に対する理解を深める。								
到達 目標	1. 口腔疾患を予防し、歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識・技術および態度を修得する。 2. 健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識・技術および態度を修得する。 3. さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基本的な知識・技術および態度を修得する。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
1	臨床歯科医学 (10)			口腔外科・歯科麻酔学④				講義	大関
2	臨床歯科医学 (11)			口腔外科・歯科麻酔学⑤				講義	大関
3	臨床歯科医学 (12)			小児歯科学①				講義	本川
4	臨床歯科医学 (13)			小児歯科学②				講義	本川
5	臨床歯科医学 (14)			矯正歯科学①				講義	吉田
6	臨床歯科医学 (15)			矯正歯科学②				講義	吉田
7	臨床歯科医学 (16)			高齢者・障害者歯科学①				講義	柿木
8	臨床歯科医学 (17)			高齢者・障害者歯科学②				講義	柿木
9	臨床歯科医学 (18)			高齢者・障害者歯科学③				講義	柿木
10	臨床歯科医学 (19)			歯科材料①				講義	田代
11	臨床歯科医学 (20)			歯科材料②				講義	田代
12	臨床歯科医学 (21)			歯科機器				講義	葉山
13	臨床歯科医学 (22)			インプラント				講義	葉山
14	臨床歯科医学 (23)			歯科補綴学①				講義	新田
15	臨床歯科医学 (24)			歯科補綴学②				講義	新田
評価方法									
評価指標	卒業試験	－	－	－	－	－	－	－	合計
評価割合 (%)	100	－	－	－	－	－	－	－	100
教科書	高阪 利美 他 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第1版 医歯薬出版 ￥8,200+税 可児 徳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第1版 医歯薬出版 ￥5,800+税 高橋 信博 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝 第1版 医歯薬出版 ￥3,500+税 服部 浩子 他 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能3 栄養学 第1版 医歯薬出版 ￥3,000+税 合場 千佳子 他 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税 末瀬 一彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版 ￥3,500+税 千田 彰 他 歯科衛生学シリーズ 保存修復・歯内療法 第1版 医歯薬出版 ￥4,200+税								

	申 基 結 他 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 第1版 医歯薬出版 ¥3,500+税 赤川 安正 他 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第1版 医歯薬出版 ¥3,400+税 山根 源之 他 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第1版 医歯薬出版 ¥3,400+税 氷室 利彦 他 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第1版 医歯薬出版 ¥3,600+税 大嶋 隆 他 歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 第1版 医歯薬出版 ¥3,400+税 森戸 光彦 他 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版 永末書店 ¥3,500+税 飯久保 正弘他 歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版 学健書院 ¥2,600+税 植田 耕一郎 他 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版 ¥3,800+税 歯科衛生士国試対策研究会 歯科衛生士 国試対策集 2026 年対応 第 1 版 クインテッセンス出版 ¥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会 徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 2024 年版 第 1 版 医歯薬出版 ¥3,700+税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の 注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。